

都民のスポーツ活動に関する実態調査〈概要〉

令和7年3月

調査実施の概要

1 調査目的

都民のスポーツ活動を把握することにより、今後の東京都におけるスポーツ振興のための目標設定や施策の検討に活用することを目的とする。

2 調査項目

- (1) スポーツ活動全般
- (2) するスポーツ
- (3) みるスポーツ
- (4) 支えるスポーツ
- (5) パラスポーツ（障害者スポーツ）への関心度等

3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 標本数：4,000標本
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：郵送法（郵送送付・郵送回収、WEB〔インターネット〕回答併用）
- (5) 調査期間：令和6年11月15日～12月9日
- (6) 調査実施機関：一般社団法人輿論科学協会

4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率）1,138標本（28.5%）〔うち郵送569標本、インターネット569標本〕
- (2) 未完了標本数（率）2,862標本（71.6%）

東京都生活文化スポーツ局

調査結果の概要

※ n は質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す

※個々の比率の合計は、全体の計に一致しないことがある

※M. A. は幾つでも選択

※M. T. は回答の合計を n で割った比率

1 スポーツ活動全般

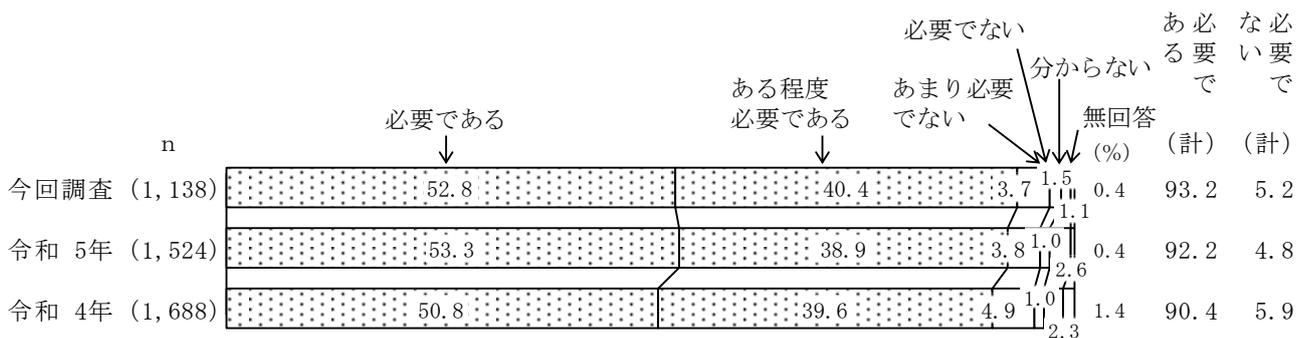
(1) スポーツに対する意識：

スポーツ活動全般（実施だけでなく、観戦、支援、スポーツイベントの開催を含む）についてどの程度必要だと思うか聞いた。

(本文 P3～P8)

・『必要である（計）』は 93%（令和 5 年より 1 ポイント増加）

・『必要でない（計）』は 5%（令和 5 年とほぼ同様）



(注) 『必要である（計）』は「必要である」「ある程度必要である」の合計

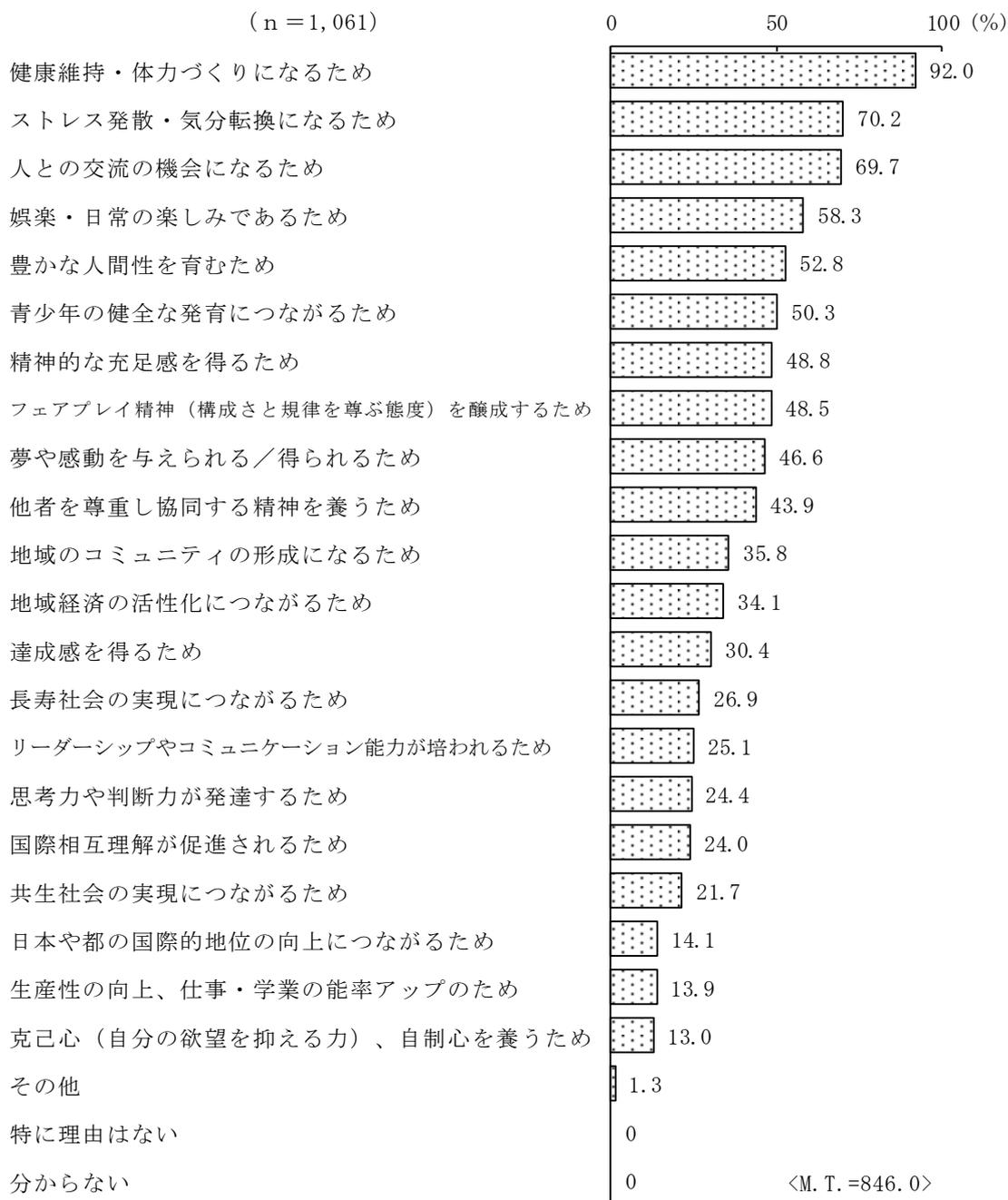
『必要でない（計）』は「必要でない」「あまり必要でない」の合計

(2) スポーツが必要と考える理由：

スポーツ活動全般が必要であると答えた人（1,061人）に、必要と考える理由を聞いた。（M. A.）

（本文P9～P11）

- ・「健康維持・体力づくりになるため」が92%でトップ
- ・「ストレス発散・気分転換になるため」と「人との交流の機会になるため」70%が続く

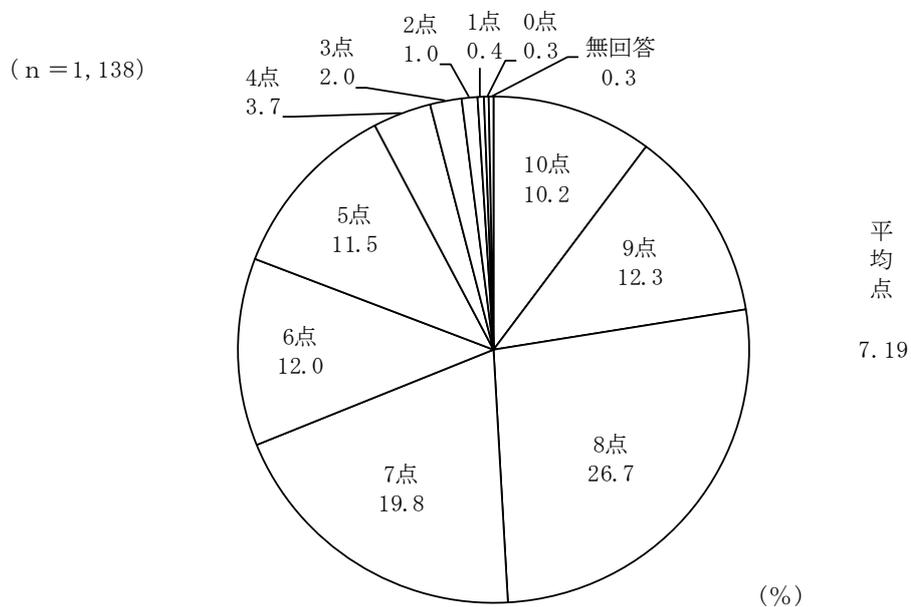


(3) 現在の幸せ度：

現在、どの程度幸せか「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として聞いた。

(本文P12～P13)

- ・「8点」が27%でトップ
- ・「7点」20%、「9点」、「6点」及び「5点」12%が続く

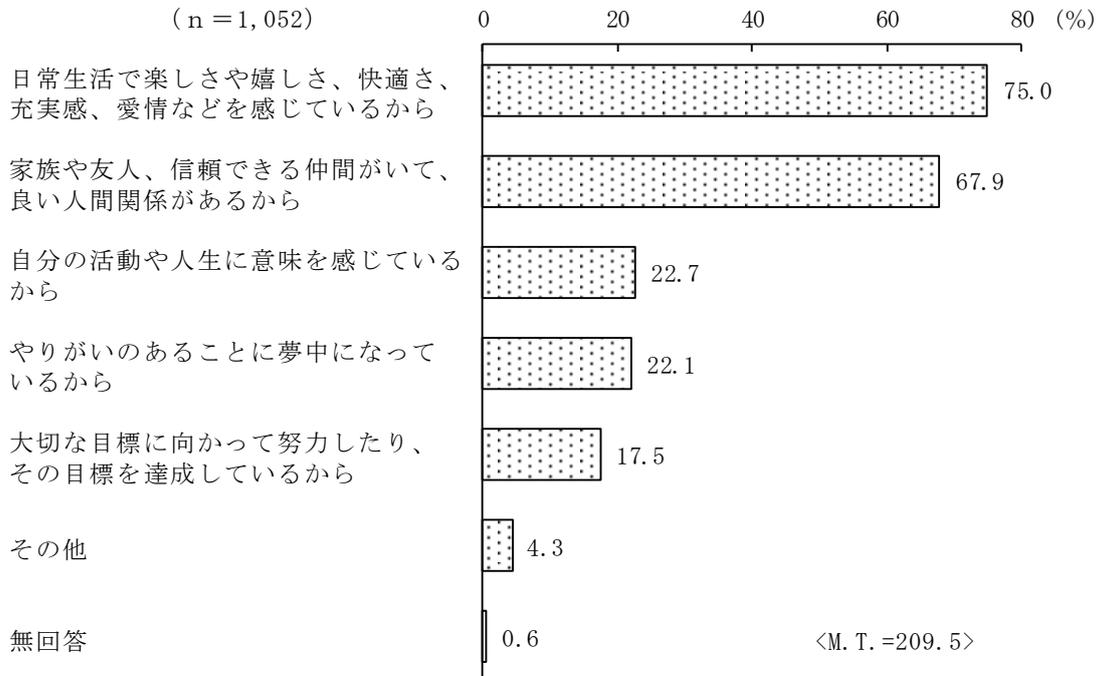


(4) 幸福感を感じた理由：

現在の幸せ度で、5～10点と答えた人（1,052人）に、幸福感を感じた理由を聞いた。（M. A.）

（本文P14～P16）

- ・「日常生活で楽しさや嬉しさ、快適さ、充実感、愛情などを感じているから」が75%でトップ
- ・「家族や友人、信頼できる仲間がいて、良い人間関係があるから」68%、「自分の活動や人生に意味を感じているから」23%が続く



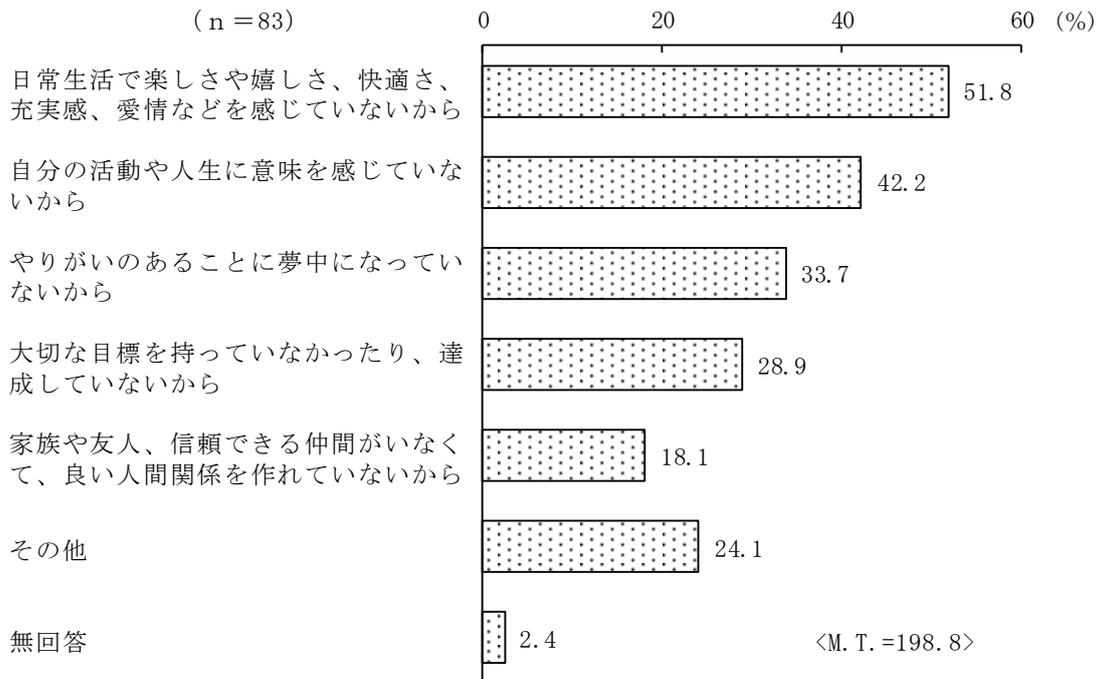
(5) 幸福感を感じなかった理由：

現在の幸せ度で、0～4点と答えた人（83人）に、幸福感を感じなかった理由を聞いた。

(M. A.)

(本文P17～P18)

- ・「日常生活で楽しさや嬉しさ、快適さ、充実感、愛情などを感じていないから」が52%でトップ
- ・「自分の活動や人生に意味を感じていないから」42%、「やりがいのあることに夢中になっていないから」34%が続く

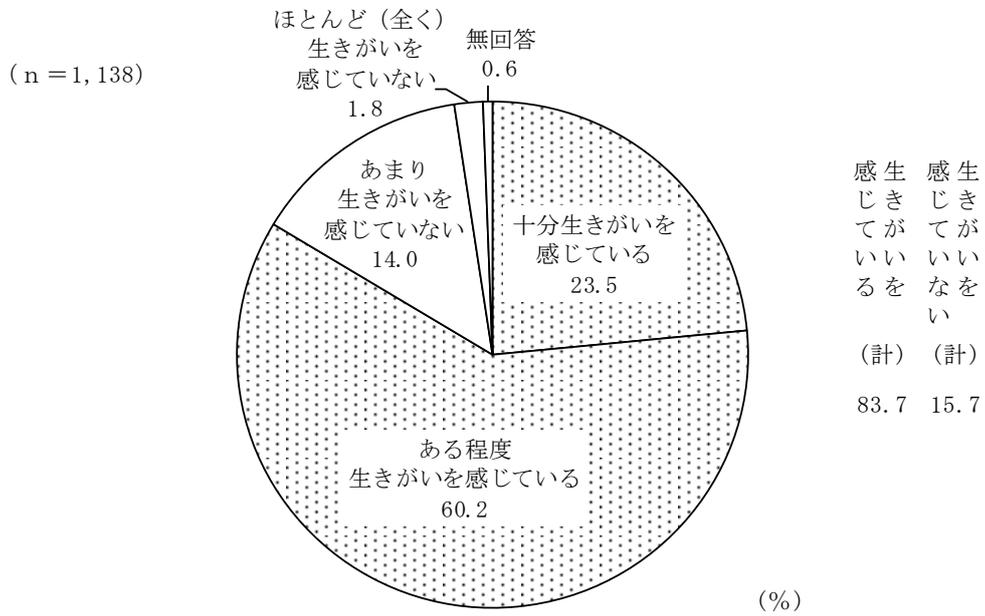


(6) 日常生活の中で生きがいを感じる程度：

日常生活の中で、どの程度生きがいを感じているか聞いた。

(本文 P 19～ P 20)

- ・『生きがいを感じている（計）』は 84%
- ・『生きがいを感じていない（計）』は 16%



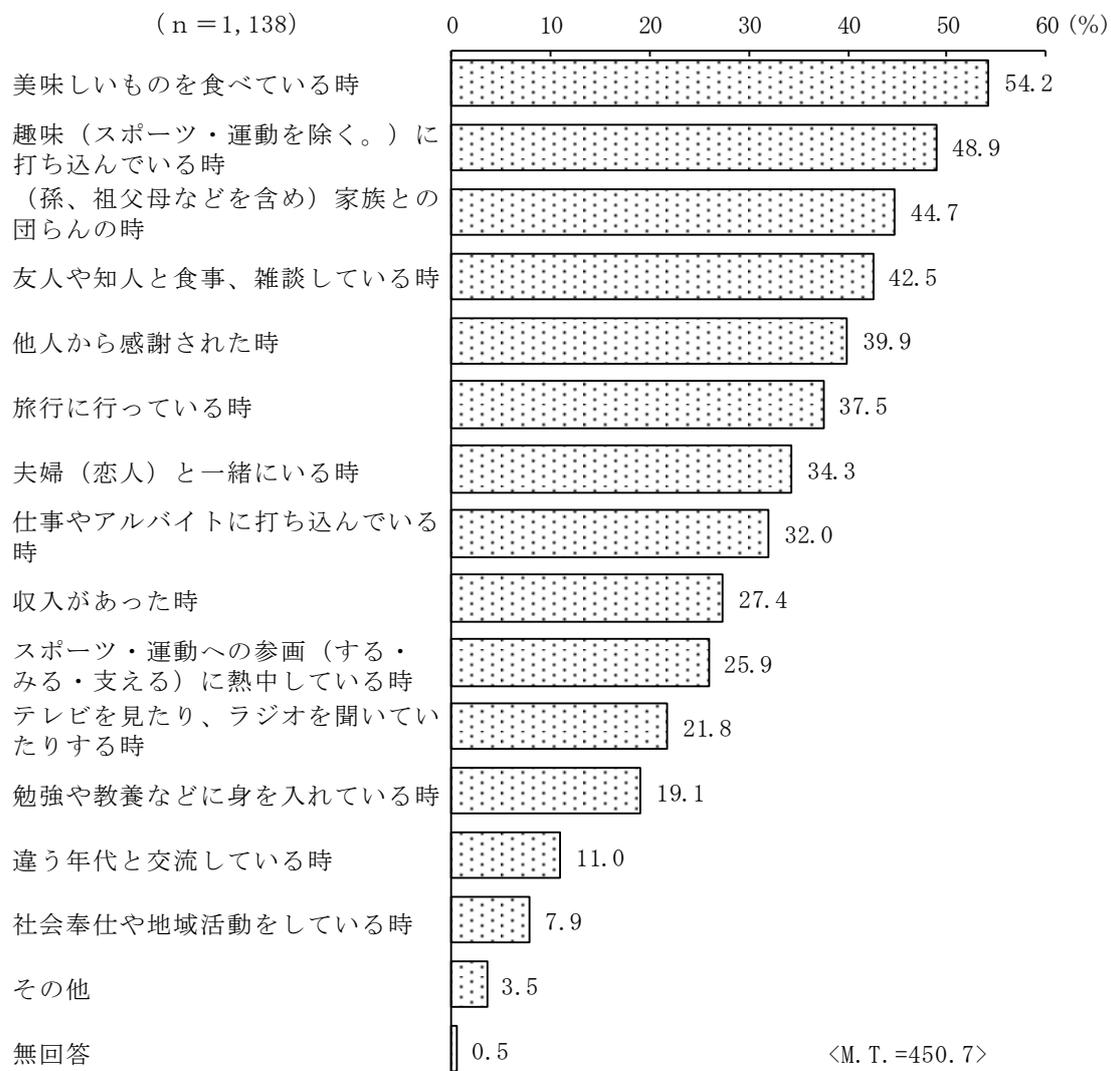
(注) 『生きがいを感じている』は「十分生きがいを感じている」「ある程度生きがいを感じている」の合計
『生きがいを感じていない』は「ほとんど（全く）生きがいを感じていない」「あまり生きがいを感じていない」の合計

(7) どのような時に生きがいを感じるか：

生きがいを感じるのはどのような時か聞いた。(M. A.)

(本文P21～P23)

- ・「美味しいものを食べている時」が54%でトップ
- ・「趣味（スポーツ・運動を除く。）に打ち込んでいる時」49%、「(孫、祖父母などを含め) 家族との団らんの時」45%が続く

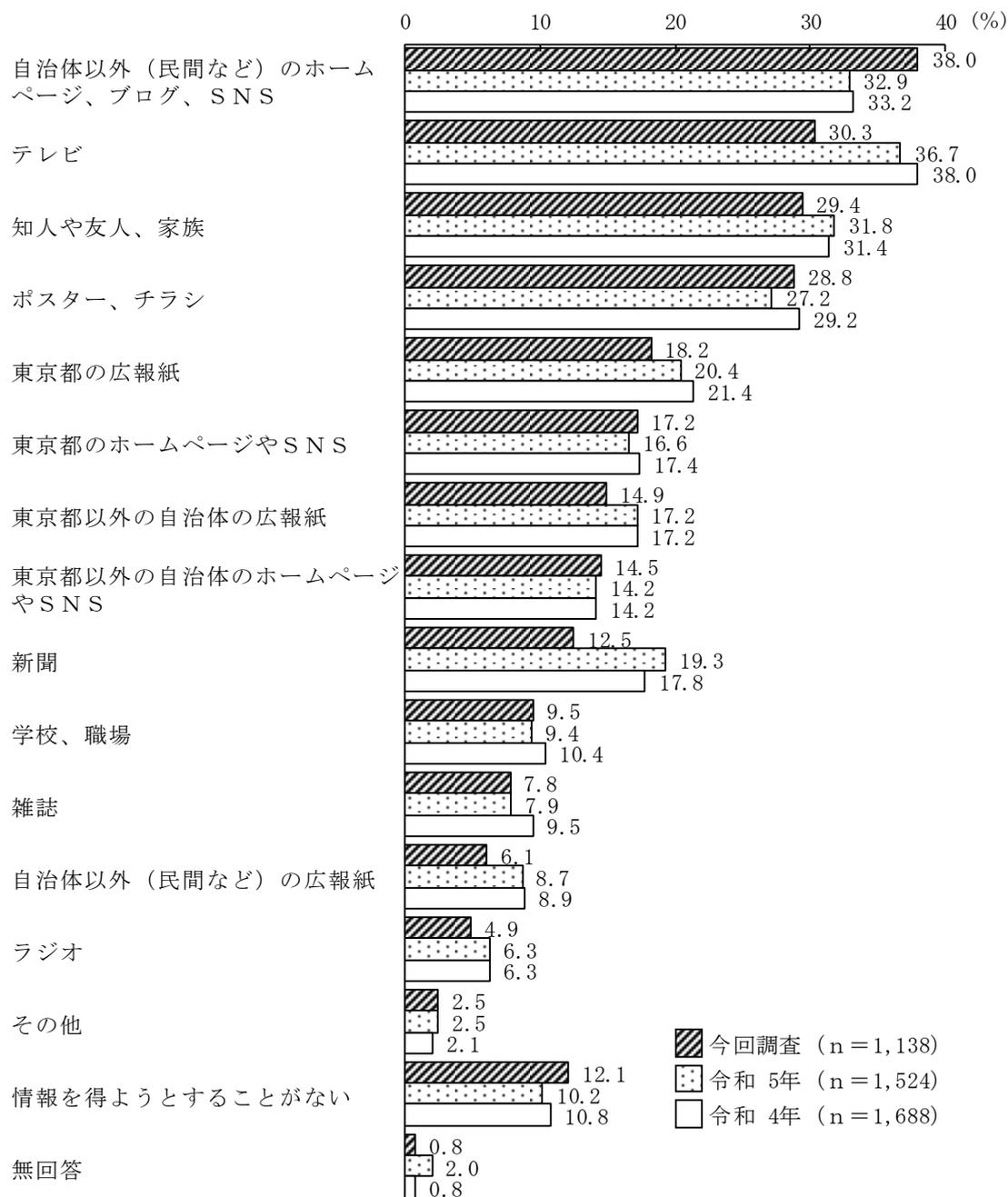


(8) スポーツ情報の入手先：

スポーツの情報を得る場合、その情報をどこから得るか聞いた。(M. A.)

(本文P24～P27)

- ・「自治体以外（民間など）のホームページ、ブログ、SNS」が38%でトップ（令和5年より5ポイント増加）
- ・「テレビ」30%、「知人や友人、家族」と「ポスター、チラシ」29%が続く



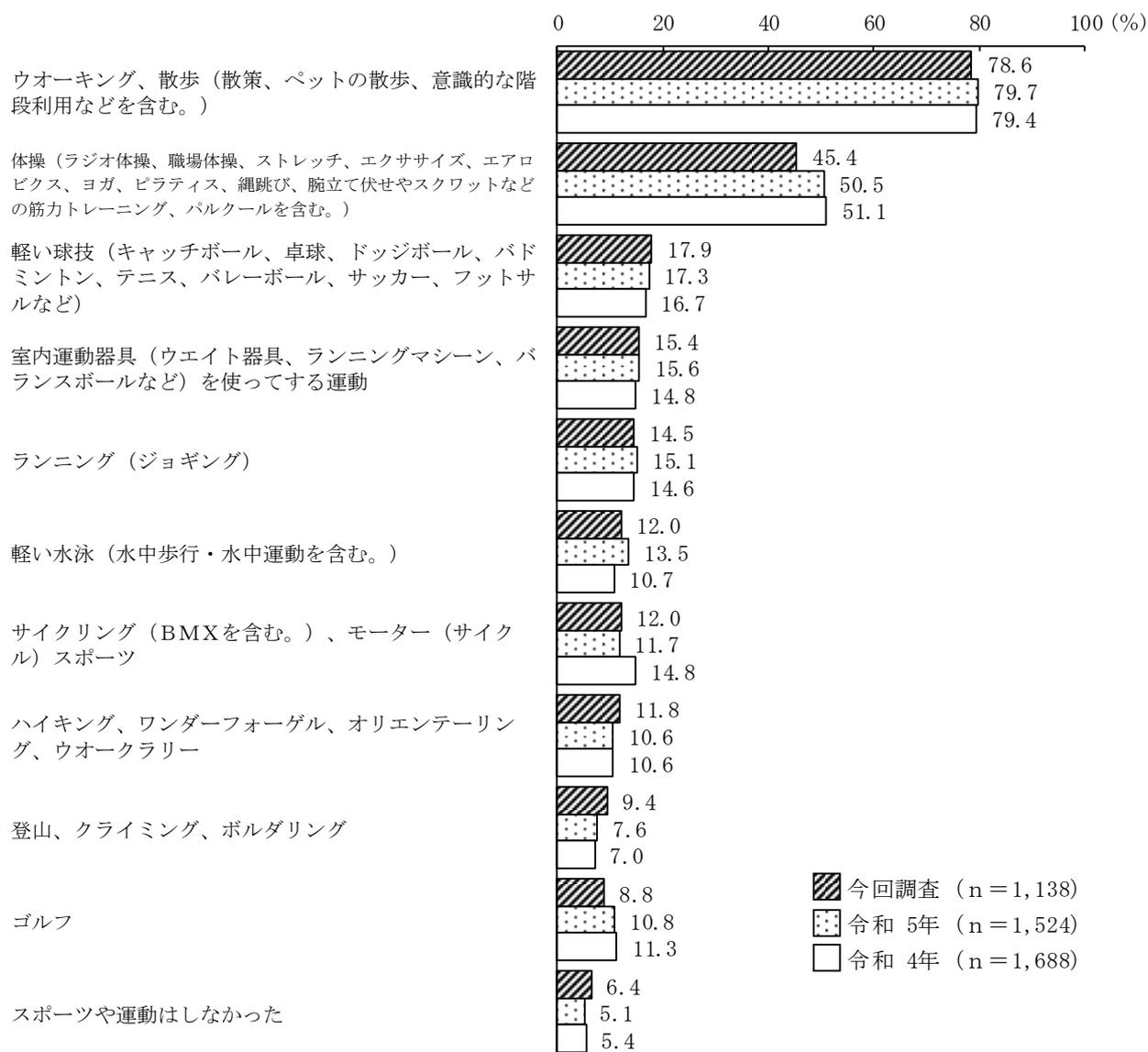
2 するスポーツ

(1) スポーツ・運動の1年間の実施状況：

この1年間に実施したスポーツや運動の種目を聞いた。(M. A.)

(本文 P 28～P 35)

- ・「ウォーキング、散歩」が79%でトップ（令和5年より1ポイント減少）
- ・「体操」45%、「軽い球技」18%が続く
- ・「スポーツや運動はしなかった」6%（令和5年より1ポイント増加）



(注1) 「体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳び、腕立て伏せやスクワットなど筋力トレーニング、パルクールを含む）」は令和4年では「体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳び、腕立て伏せやスクワットなど筋力トレーニングを含む）」

(注2) 「サイクリング（BMXを含む）、モーター（サイクル）スポーツ」は令和4年では「サイクリング、モーター（サイクル）スポーツ」

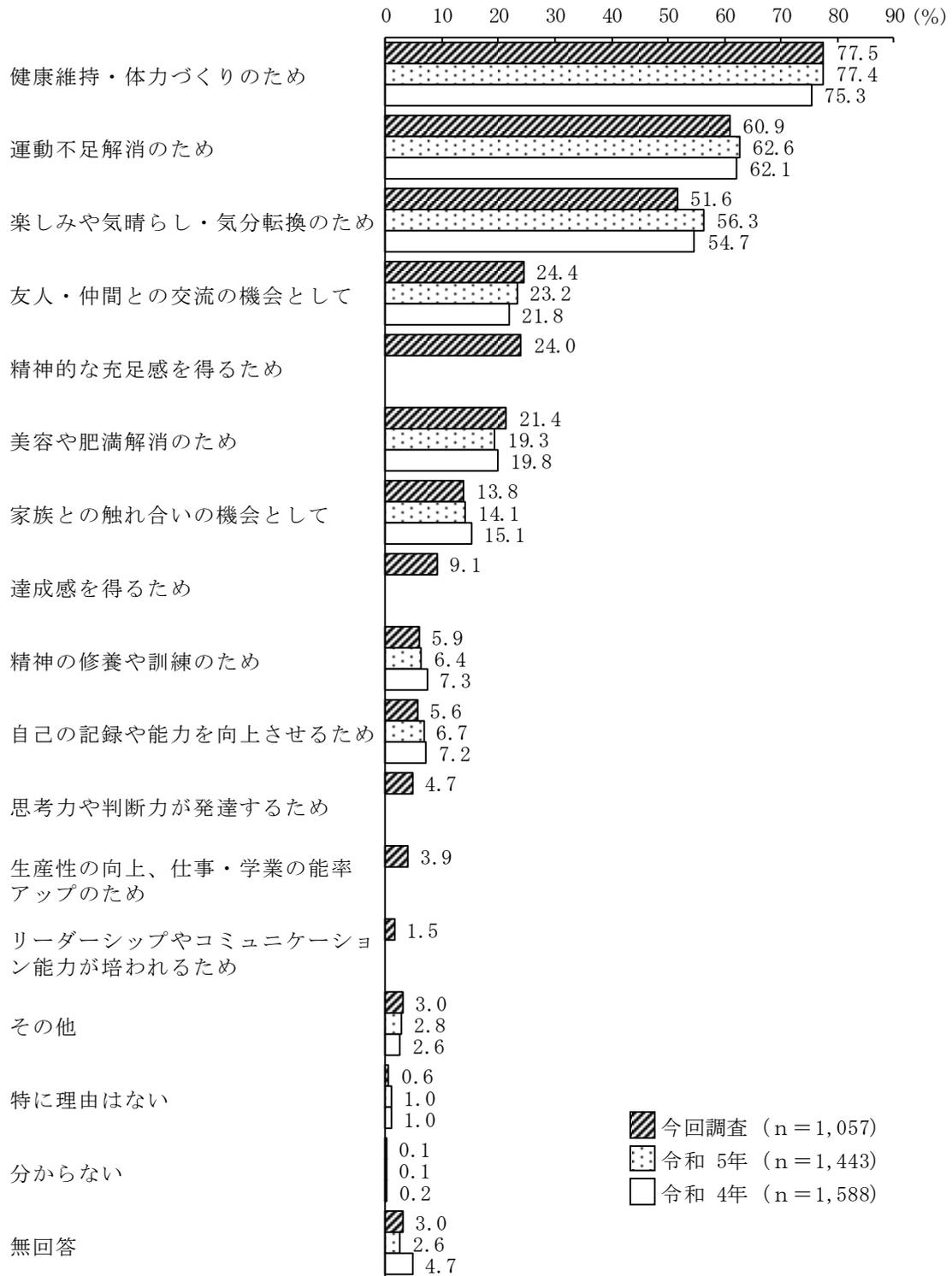
(2) スポーツ・運動を実施した理由：

この1年間にスポーツや運動を実施したと答えた人（1,057人）に、実施した理由を聞いた。

(M. A.)

(本文P36～P38)

- ・「健康維持・体力づくりのため」が78%でトップ（令和5年とほぼ同様）
- ・「運動不足解消のため」61%、「楽しみや気晴らし・気分転換のため」52%が続く



(注) 「精神的な充足感を得るため」「達成感を得るため」「思考力や判断力が発達するため」「生産性の向上、仕事・学業の能率アップのため」「リーダーシップやコミュニケーション能力が培われるため」は今回調査から追加

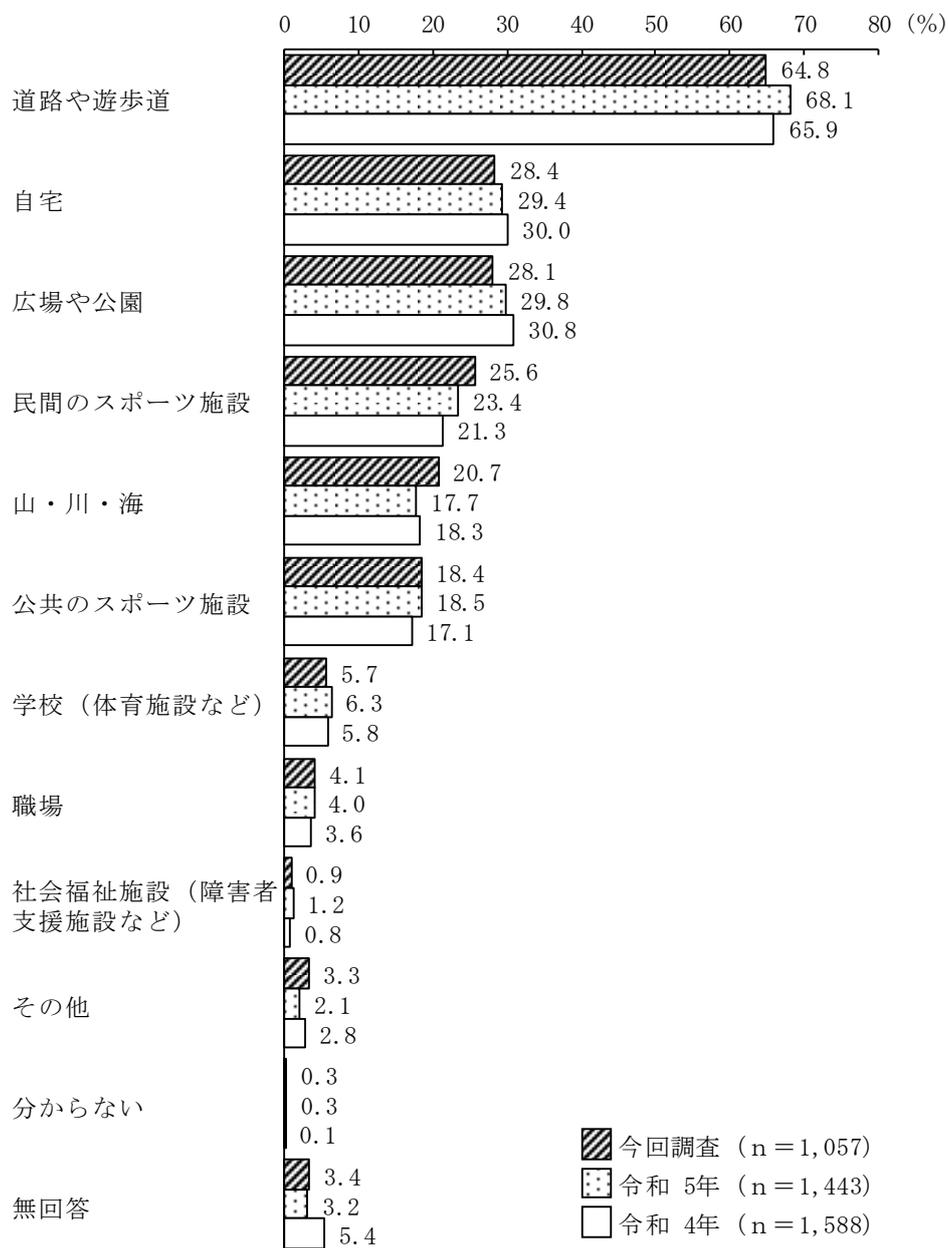
(3) スポーツ・運動を実施した場所：

この1年間にスポーツや運動を実施したと答えた人（1,057人）に、実施した場所を聞いた。

(M. A.)

(本文P39～P41)

- ・「道路や遊歩道」が65%でトップ（令和5年より3ポイント減少）
- ・「自宅」と「広場や公園」28%が続く

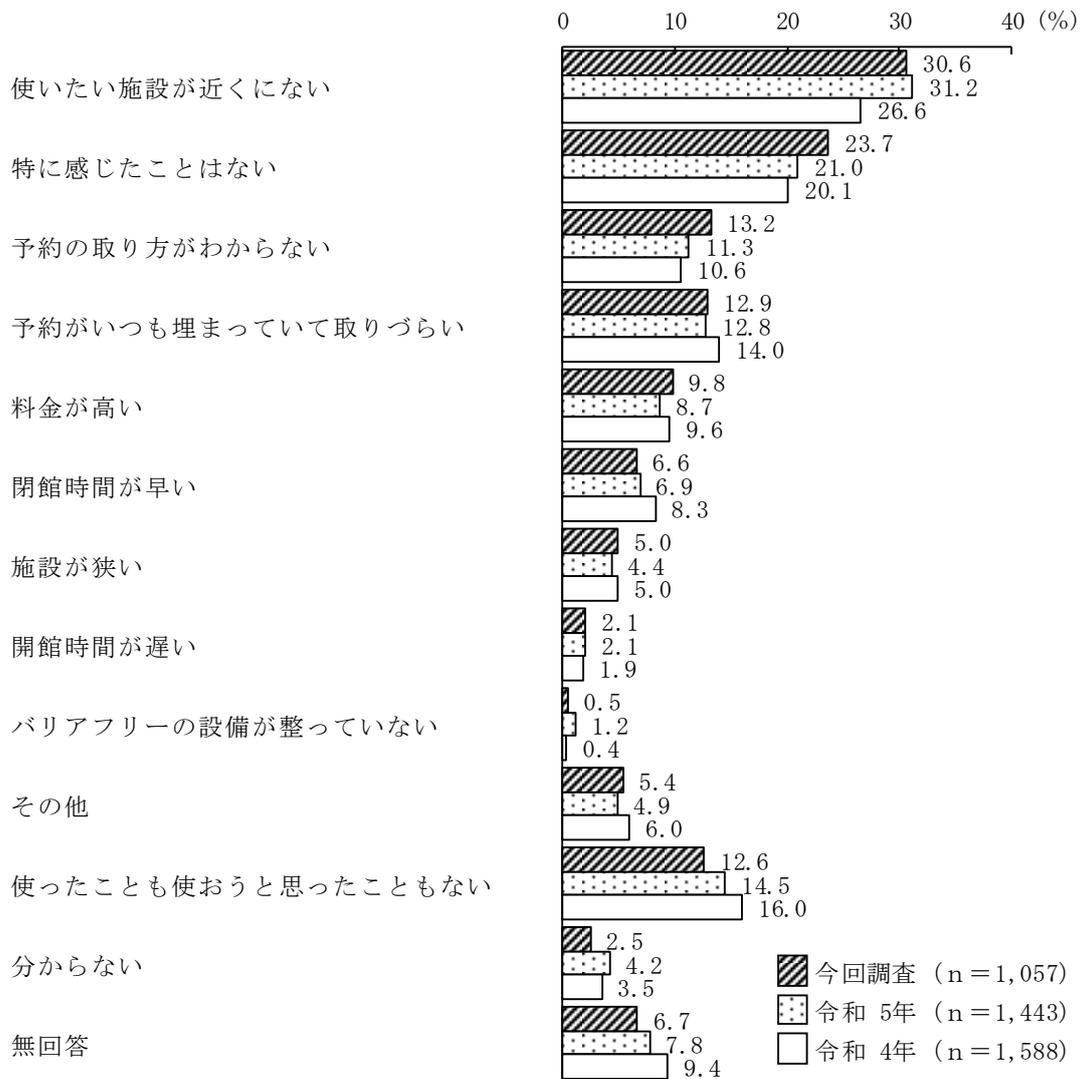


(4) 公共のスポーツ施設の利用で感じたこと：

この1年間にスポーツや運動を実施したと答えた人(1,057人)に、公共のスポーツ施設について、利用したときや利用しようと思ったときに感じたことを聞いた。(M. A.)

(本文P42～P46)

- ・「使いたい施設が近くにない」が31%でトップ（令和5年より1ポイント減少）
- ・「特に感じたことはない」24%、「予約の取り方がわからない」と「予約がいつも埋まっていて取りづらい」13%が続く



(5) スポーツ・運動を実施した日数：

この1年間にスポーツや運動を実施したと答えた人(1,057人)に、スポーツ・運動を実施した日数を聞いた。

(本文P47～P51)

- ・「週3日以上(年151日以上)」が32%でトップ(令和5年より1ポイント減少)
- ・「週に1日(年51日～100日)」19%、「週に2日(年101日～150日)」17%が続く

n	週3日以上 (年151日以上)		週に2日 (年101日～150日)		週に1日 (年51日～100日)		月に1～3日 (年12日～50日)		3か月に1～2日 (年4日～11日)		年に1～3日		分からない		無回答	
今回調査 (1,057)	31.8		17.3		19.0		15.5		6.2		4.1		3.1		2.9	
令和5年 (1,443)	32.6		19.0		18.4		14.3		5.8		3.4		3.3		3.3	
令和4年 (1,588)	29.4		20.7		19.9		13.8		5.1		2.3		5.4		3.4	

[スポーツ・運動の実施頻度]

スポーツ・運動の1年間の実施状況とスポーツ・運動を実施した日数のそれぞれの回答から、スポーツ・運動の実施頻度を分類した。

(本文P52～P55)

- ・『週に1日以上実施』は63%(令和5年より3ポイント減少)
- ・『週に1日未満実施』は24%(令和5年より2ポイント増加)
- ・「スポーツや運動はしなかった」は6%(令和5年より1ポイント増加)

n	週に1日以上実施		週に1日未満実施		実施したが頻度は分からない		スポーツや運動はしなかった		無回答	
今回調査 (1,138)	63.3		24.0		2.9		6.4		3.4	
令和5年 (1,524)	66.3		22.2		3.1		5.1		3.3	
令和4年 (1,688)	65.9		19.9		3.2		5.4		5.6	

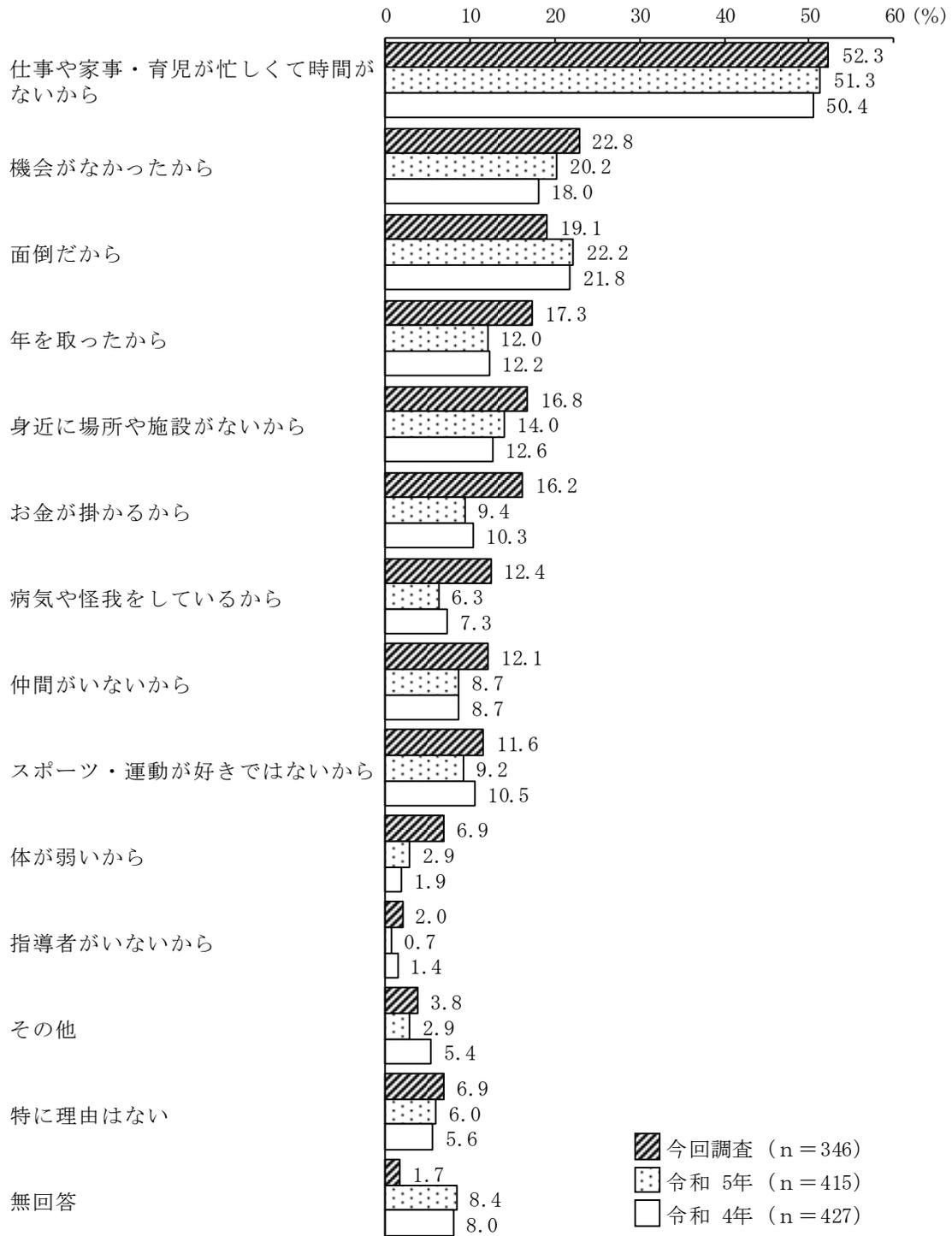
(注)『週に1日以上実施』は「週3日以上」「週に2日」「週に1日」の合計
 『週に1日未満実施』は「月に1～3日」「3ヶ月に1～2日」「年に1～3日」の合計

(6) スポーツ・運動を実施した頻度が週1日に満たなかった理由：

この1年間に「スポーツや運動はしなかった」又は、「週に1日未満」と答えた人（346人）に、その理由を聞いた。（M. A.）

（本文P56～P58）

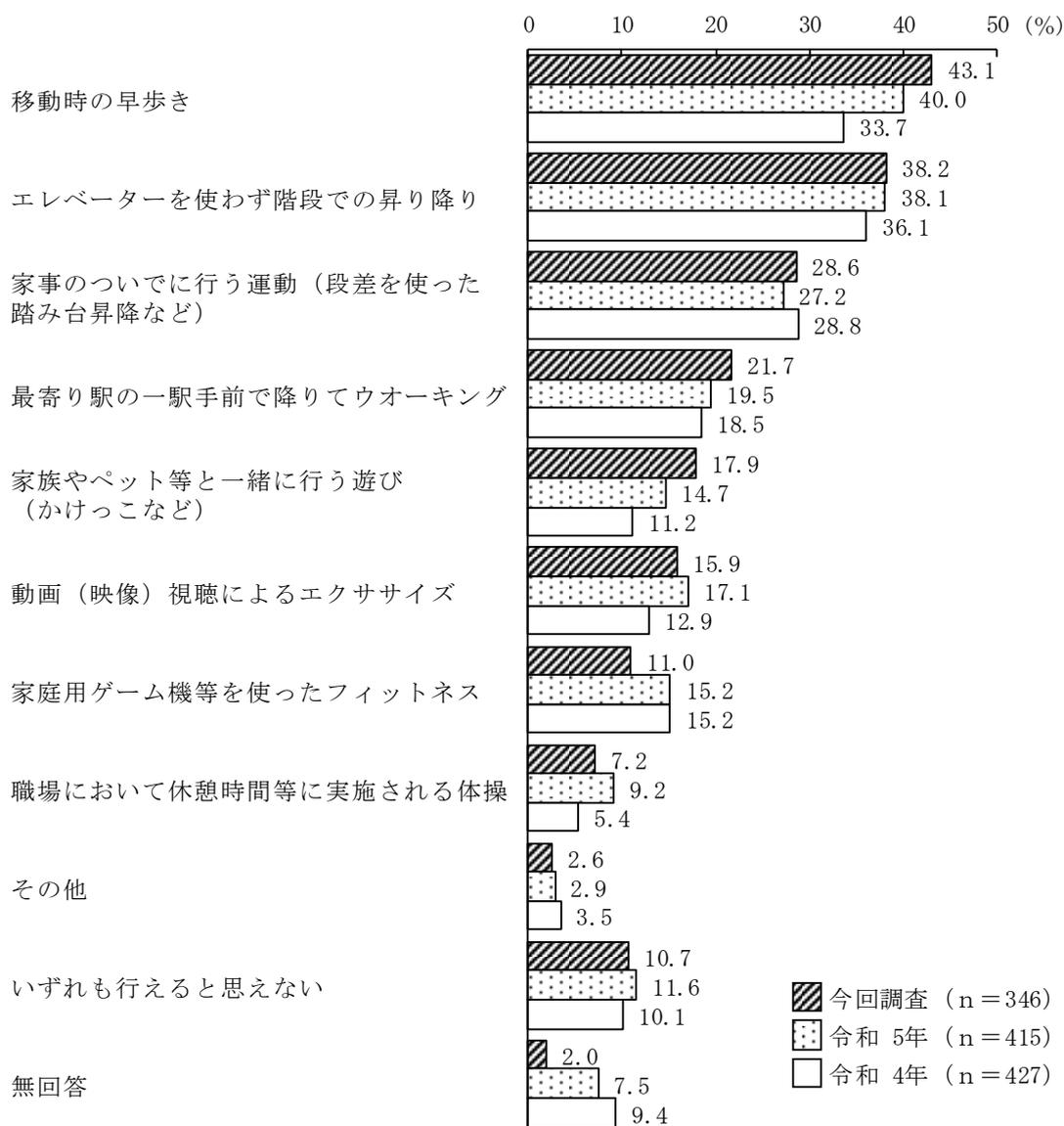
- ・「仕事や家事・育児が忙しくて時間がないから」が52%でトップ（令和5年より1ポイント増加）
- ・「機会がなかったから」23%、「面倒だから」19%が続く



(7) スポーツ・運動をより頻繁に行える可能性：

この1年間に「スポーツや運動はしなかった」又は、「週に1日未満」と答えた人(346人)に、今後どのようなスポーツ・運動であれば(より頻繁に)行える可能性があるか聞いた。(M. A.)
(本文P59～P61)

- ・「移動時の早歩き」が43%でトップ(令和5年より3ポイント増加)
- ・「エレベーターを使わず階段での昇り降り」38%、「家事的ついでに行う運動(段差を使った踏み台昇降など)」29%が続く



(8) スポーツ・運動を続けた期間：

この1年間にスポーツや運動を週に1日以上実施した、又は「分からない」と答えた人（753人）に、どの程度の期間続けているか聞いた。

（本文P62～P66）

- ・「2年以上、5年未満」が21%でトップ（令和5年より1ポイント増加）
- ・「1年未満」17%、「5年以上、10年未満」15%が続く

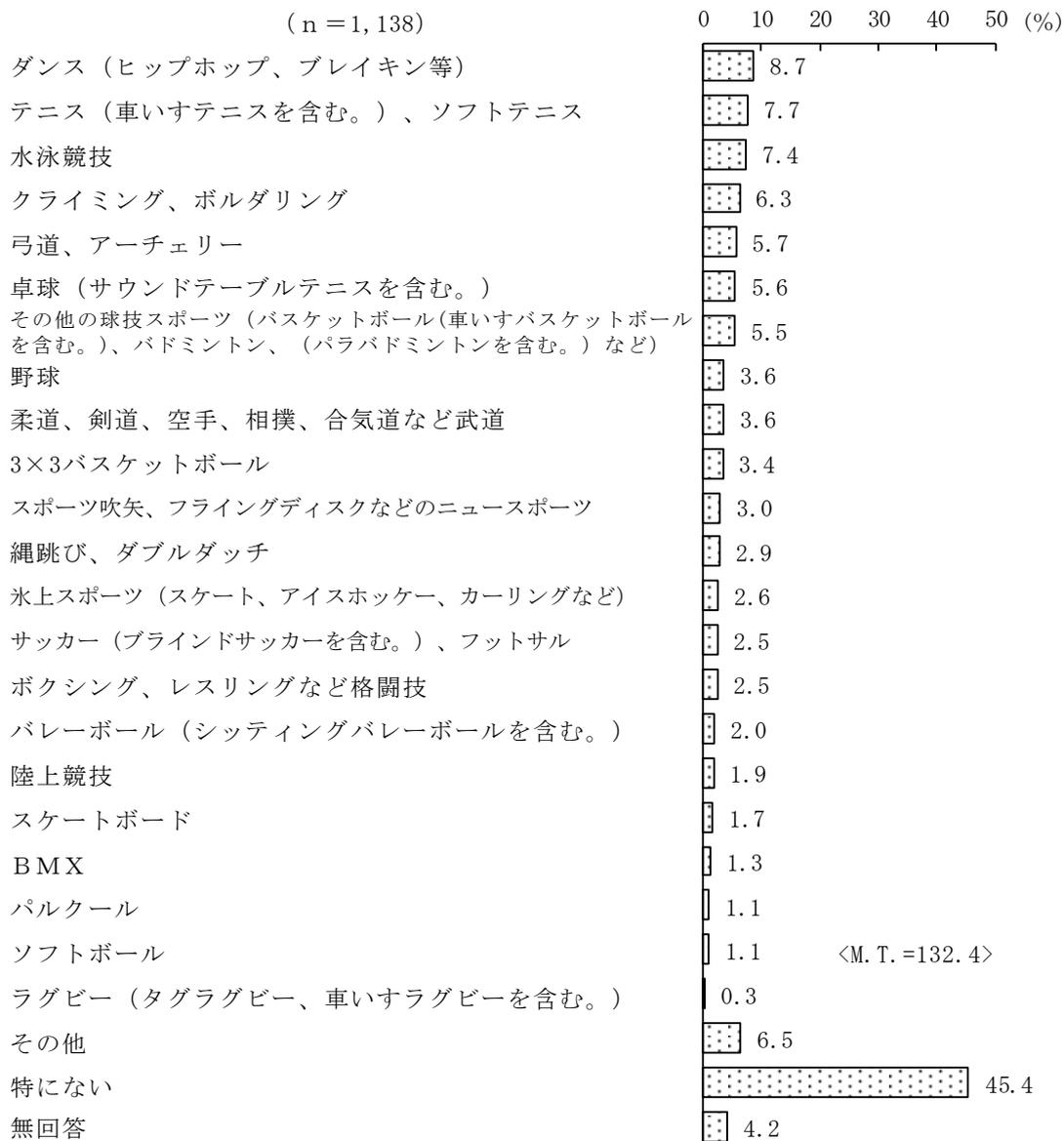
n	1年未満	1年以上、 2年未満	2年以上、 5年未満	5年以上、 10年未満	10年以上、 20年未満	20年以上	無回答	(%)
今回調査 (753)	16.7	11.6	21.2	14.9	12.4	13.1	10.1	
令和5年 (1,058)	12.5	9.1	20.4	13.2	16.4	16.4	12.0	

(9) 新たに取り組んでみたいスポーツ・運動：

今後新たにに取り組んでみたいスポーツや運動を聞いた。(M. A.)

(本文P67～P68)

- ・「ダンス（ヒップホップ、ブレイキン等）」が9%でトップ
- ・「テニス（車いすテニスを含む。）、ソフトテニス」8%、「水泳競技」7%が続く

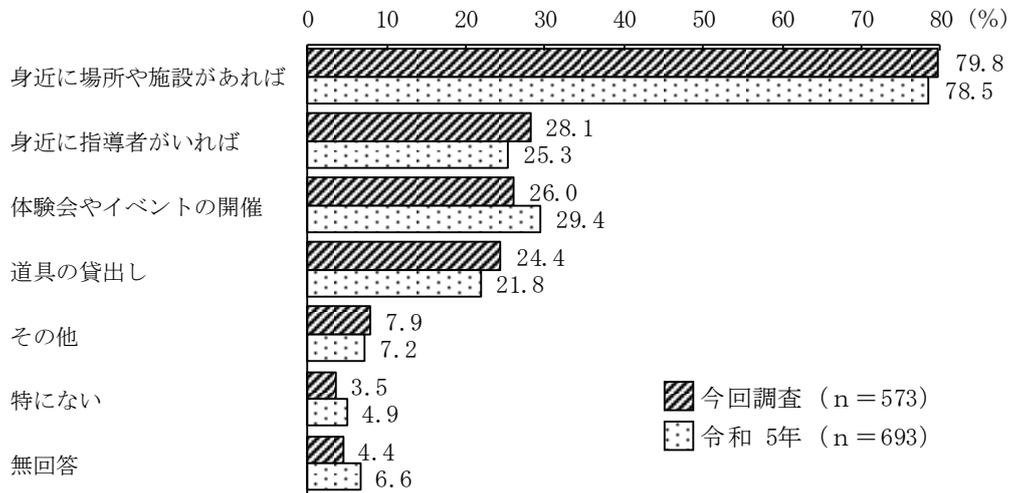


(10) 取り組みやすくなる環境：

今後新たに組み組んでみたいスポーツや運動があると答えた人（573人）に、どのような環境を整えれば、取り組みやすくなると思うか聞いた。（M. A.）

（本文P69～P71）

- ・「身近に場所や施設があれば」が80%でトップ（令和5年より1ポイント増加）
- ・「身近に指導者がいれば」28%、「体験会やイベントの開催」26%が続く

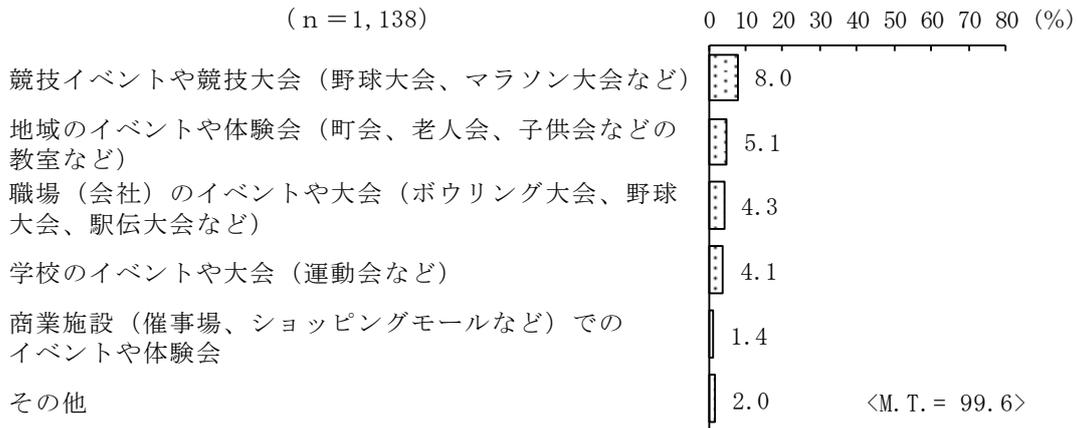


(11) この1年間のスポーツイベント、大会への参加状況：

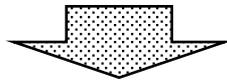
この1年間に、スポーツイベント、大会に参加したことがあるか聞いた。(M. A.)

(本文P72～P74)

- ・「競技イベントや競技大会（野球大会、マラソン大会など）」が8%でトップ
- ・「地域のイベントや体験会（町会、老人会、子供会などの教室など）」5%、「職場（会社）のイベントや大会（ボウリング大会、野球大会、駅伝大会など）」と「学校のイベントや大会（運動会など）」4%が続く

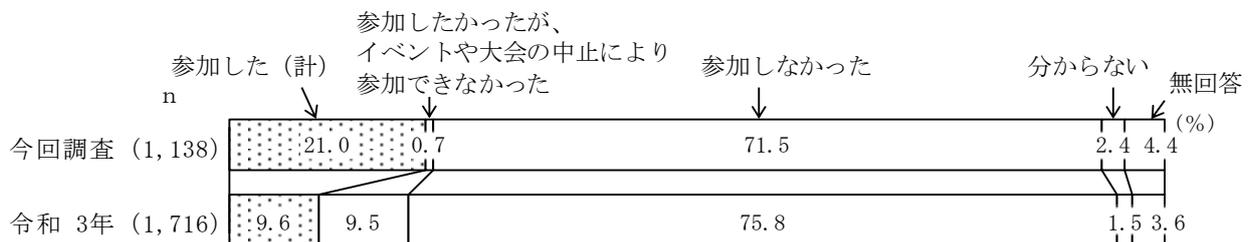


〔上記選択肢を答えた人を『参加した（計）』とし、「参加したかったが、イベントや大会の中止により参加できなかった」「参加しなかった」と答えた人との比率をみると以下のとおり。〕



〔この1年間のスポーツイベント、大会への参加の有無〕

- ・「参加した（計）」は21%（令和3年より11ポイント増加）
- ・「参加したかったが、イベントや大会の中止により参加できなかった」は1%、「参加しなかった」は72%



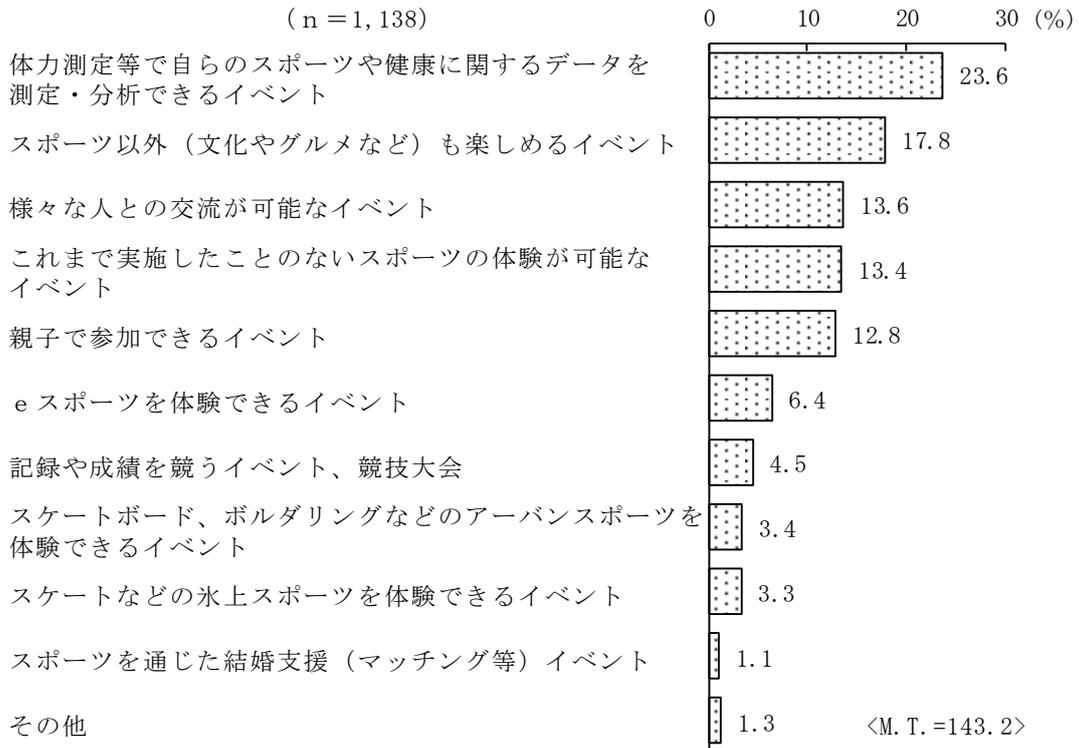
(注) 『参加した（計）』は、「参加したかったが、イベントや大会の中止により参加できなかった」「参加しなかった」「分からない」以外の選択肢を選んだ人の割合、前回までの調査は「参加したことがない」「わからない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(12) 今後のスポーツイベント、大会への参加意向：

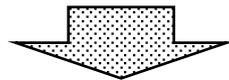
今後、どのようなスポーツイベント、大会に参加したいと思うか聞いた。(M. A.)

(本文 P 75～P 78)

- ・「体力測定等で自らのスポーツや健康に関するデータを測定・分析できるイベント」が 24%でトップ
- ・「スポーツ以外（文化やグルメなど）も楽しめるイベント」18%、「様々な人との交流が可能なイベント」14%が続く



〔上記選択肢を答えた人を『参加したいと思う（計）』とし、「特に決まっていない」、「いずれも参加したいと思わない」と答えた人との比率をみると以下のとおり。〕



[今後のスポーツイベント、大会への参加意向の有無]

- ・『参加したいと思う（計）』は 55%（令和 5 年より 2 ポイント増加）
- ・「いずれも参加したいと思わない」は 18%（令和 5 年より 1 ポイント減少）

n	参加したいと思う（計）	特に決まっていない	いずれも参加したいと思わない	無回答 (%)
今回調査 (1,138)	54.8	23.8	18.2	3.2
令和 5 年 (1,524)	52.8	24.3	19.6	3.4
令和 4 年 (1,688)	47.7	31.7	18.1	2.4

(注) 『参加したいと思う（計）』は「特に決まっていない」「いずれも参加したいと思わない」以外の選択肢を選んだ人の割合

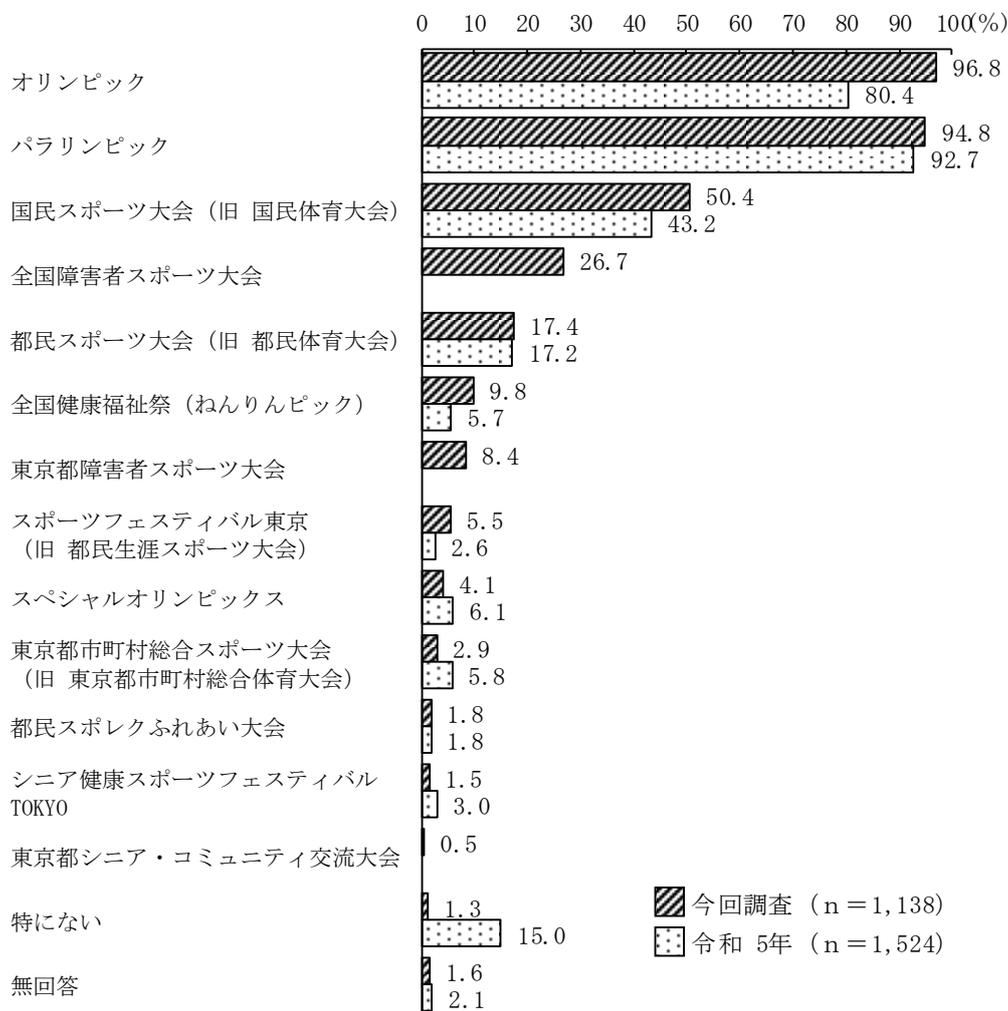
(13) 知っている・聞いたことがある大会：

知っている、又は聞いたことがある大会を聞いた。(M. A.)

(本文 P 79～P 81)

・「オリンピック」が97%でトップ(令和5年より16ポイント増加)

・「パラリンピック」95%、「国民スポーツ大会(旧 国民体育大会)」50%が続く



(注1) 「パラリンピック」「スペシャルオリンピックス」の令和5年は、「都民のスポーツ活動に関する実態調査(令和5年)」パラスポーツの国際大会の認知度より

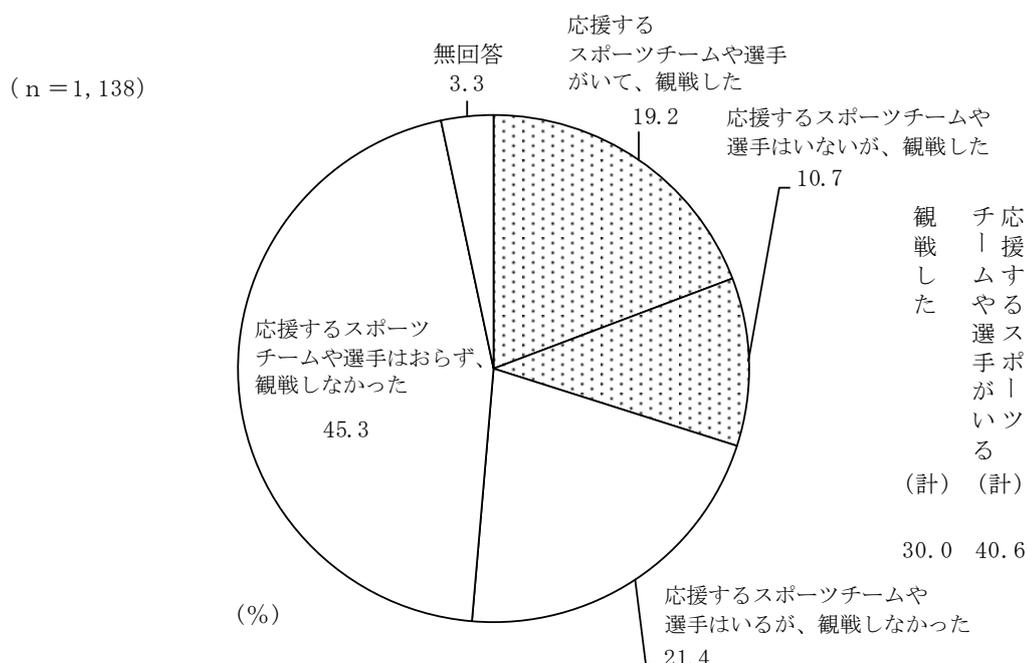
(注2) 「全国障害者スポーツ大会」「東京都障害者スポーツ大会」「東京都シニア・コミュニティ交流大会」は今回調査から追加

3 みるスポーツ

(1) 応援するスポーツチームと選手、観戦の有無：

この1年間にスタジアム・体育館・沿道などで実際にスポーツを観戦したことがあるか聞いた。
(本文 P82～P83)

- ・『観戦した (計)』は 30%
- ・『応援するスポーツチームや選手がいる (計)』は 41%

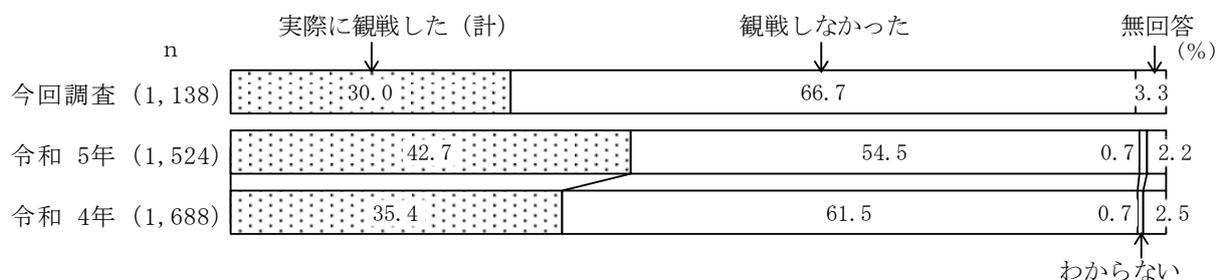


(注) 『観戦した (計)』は「応援するスポーツチームや選手がいて、観戦した」「応援するスポーツチームや選手はいるが、観戦した」の合計

『応援するスポーツチームや選手がいる (計)』は「応援するスポーツチームや選手がいて、観戦した」「応援するスポーツチームや選手はいるが、観戦しなかった」の合計

[この1年間のスポーツ観戦の有無]

- ・『実際に観戦した (計)』は 30% (令和5年より13ポイント減少)
- ・『観戦しなかった』は 67% (令和5年より12ポイント増加)



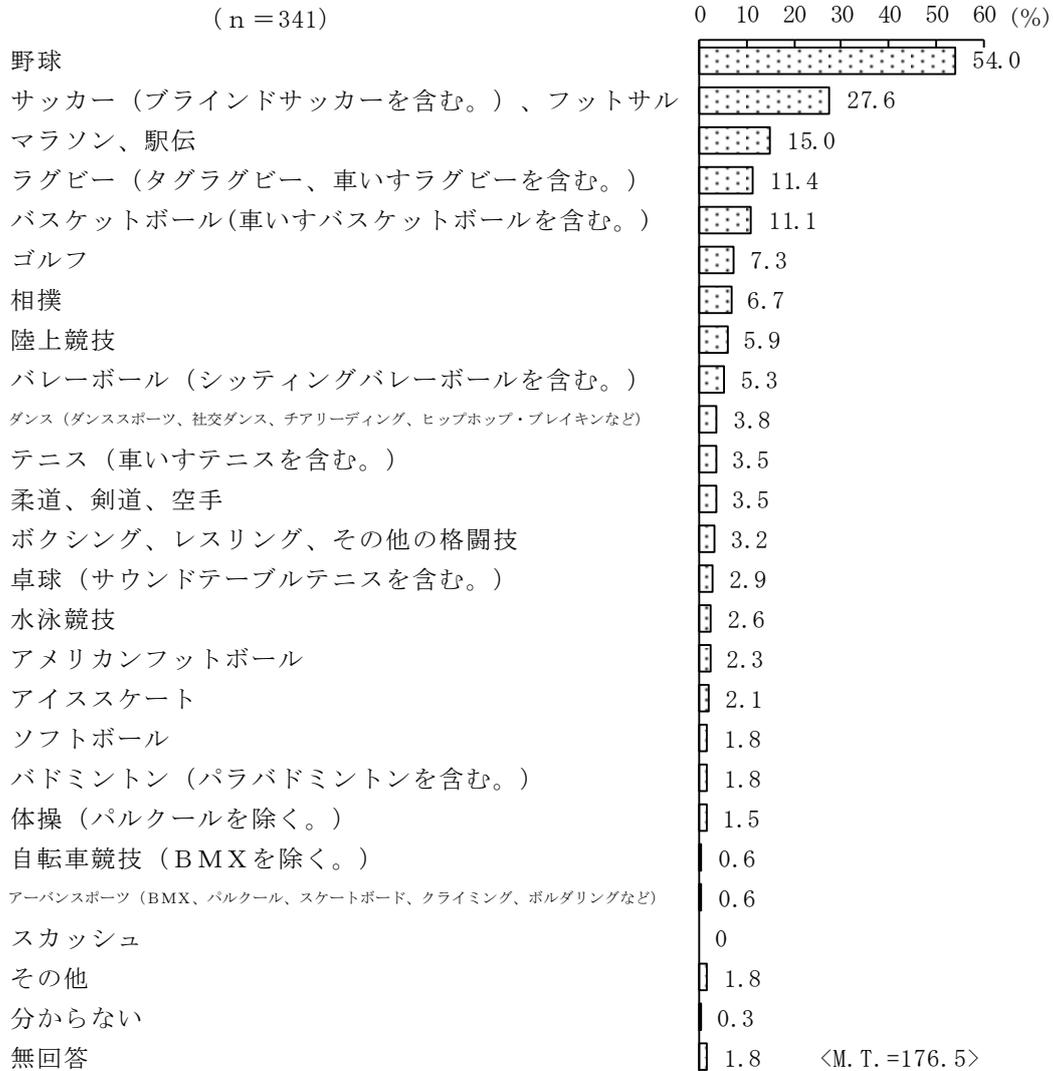
(注) 『実際に観戦した (計)』は、今回調査は「応援するスポーツチームや選手がいて、観戦した」「応援するスポーツチームや選手はいるが、観戦した」を選んだ人の割合、令和5年までは実際に観戦したいずれかのスポーツを選んだ人の割合であるため、比較には留意が必要

(2) この1年間に実際に観戦したスポーツ：

この1年間に実際にスポーツを観戦したことがあると答えた人（341人）に、観戦したスポーツを聞いた。（M. A.）

（本文P84～P86）

- ・「野球」が54%でトップ
- ・「サッカー（ブラインドサッカーを含む。）、フットサル」28%、「マラソン、駅伝」15%が続く

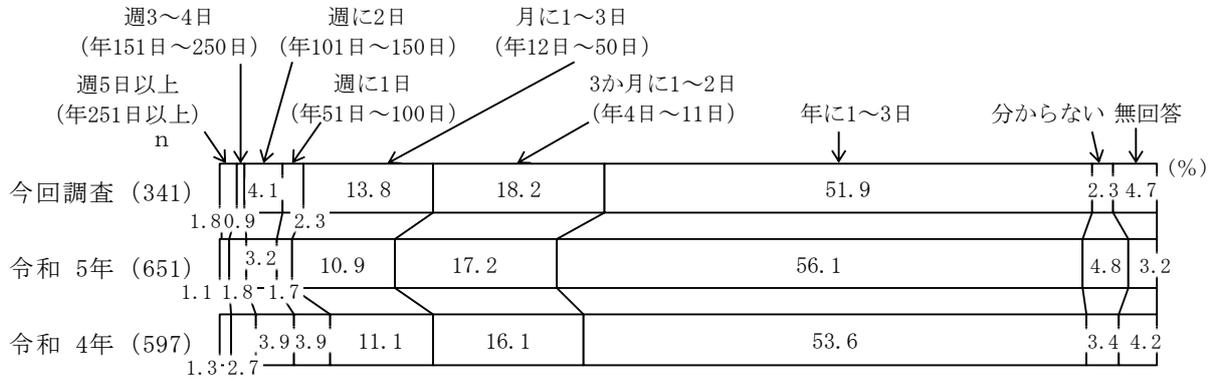


(3) 実際にスポーツを観戦した日数：

この1年間に実際にスポーツを観戦したことがあると答えた人（341人）に、スポーツを観戦した日数を聞いた。

（本文P87～P90）

- ・「年に1～3日」が52%でトップ（令和5年より4ポイント減少）
- ・「3か月に1～2日（年4日～11日）」18%、「月に1～3日（年12日～50日）」14%が続く

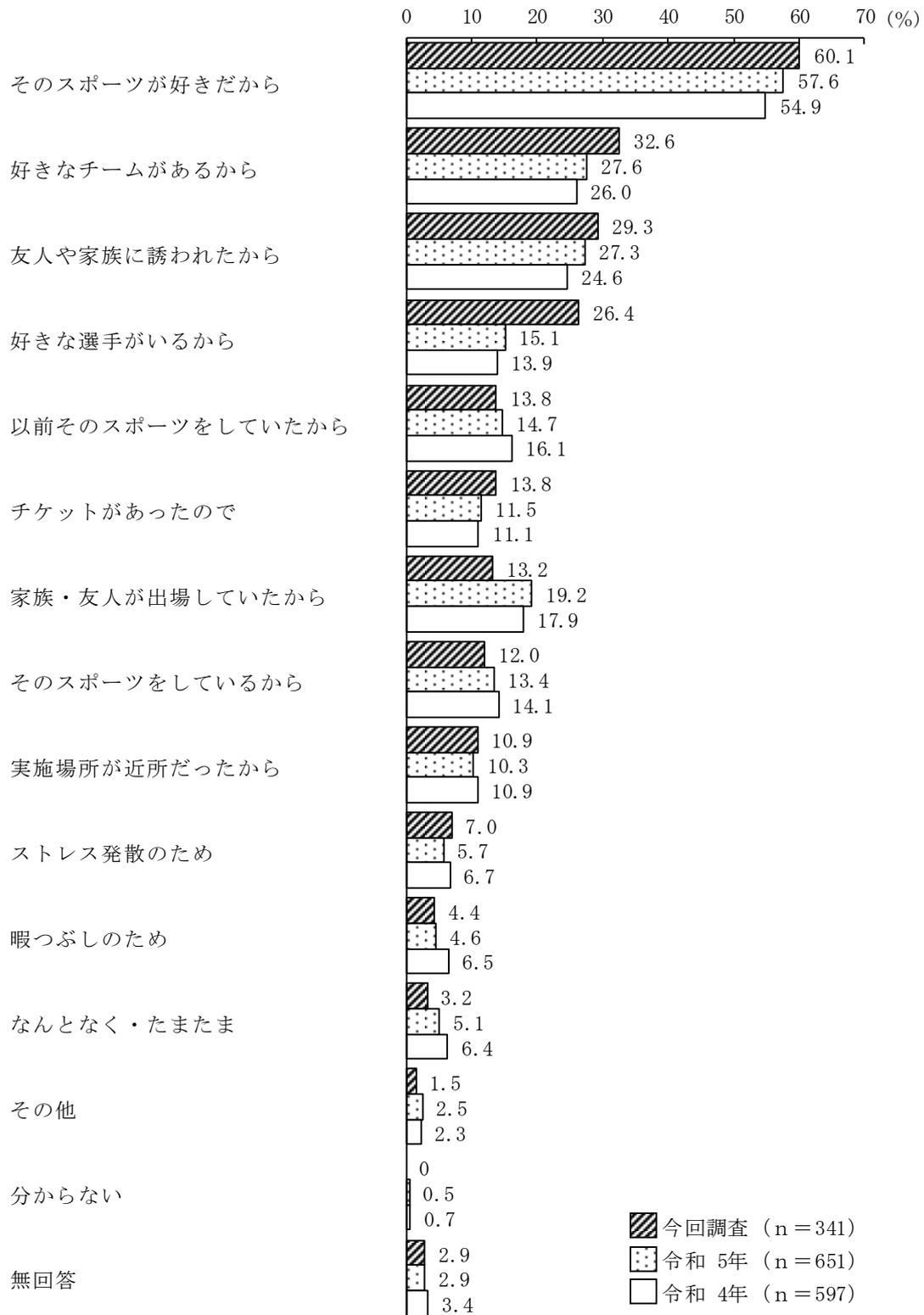


(4) スポーツを観戦した理由：

この1年間に実際にスポーツを観戦したことがあると答えた人（341人）に、観戦した理由を聞いた。（M. A.）

（本文P91～P93）

- ・「そのスポーツが好きだから」が60%でトップ（令和5年より3ポイント増加）
- ・「好きなチームがあるから」33%、「友人や家族に誘われたから」29%が続く



(注1) 「好きなチームがあるから」は令和5年までは「応援しているチームがあるから」

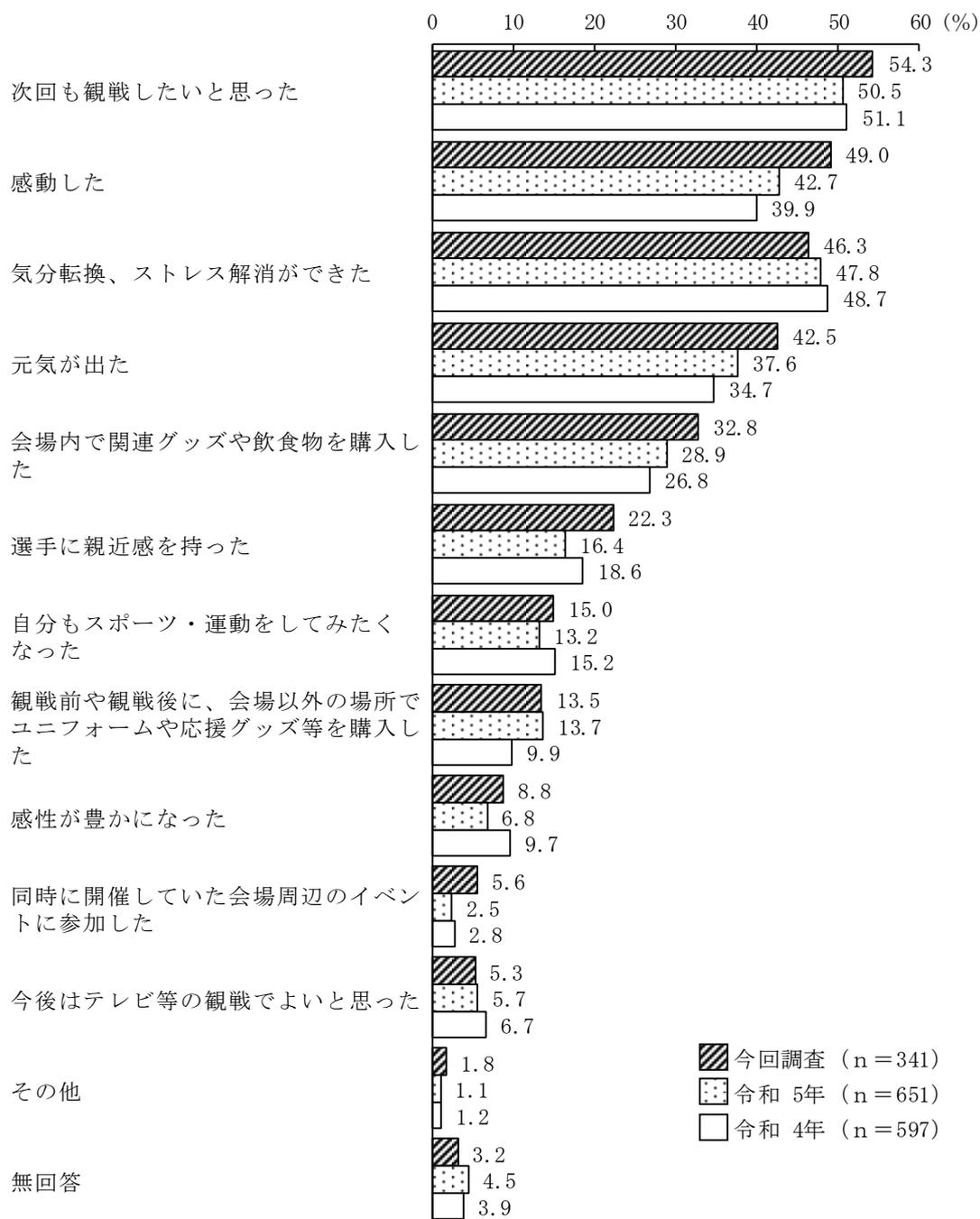
(注2) 「好きな選手がいるから」は令和5年までは「応援している選手がいるから」

(5) スポーツを実際に観戦して感じたことや行ったこと：

この1年間に実際にスポーツを観戦したことがあると答えた人（341人）に、実際に観戦して感じたことや行ったことを聞いた。（M. A.）

（本文P94～P96）

- ・「次回も観戦したいと思った」が54%でトップ（令和5年より4ポイント増加）
- ・「感動した」49%、「気分転換、ストレス解消ができた」46%が続く



(6) スポーツを実際に観戦してみようと思う取組・工夫：

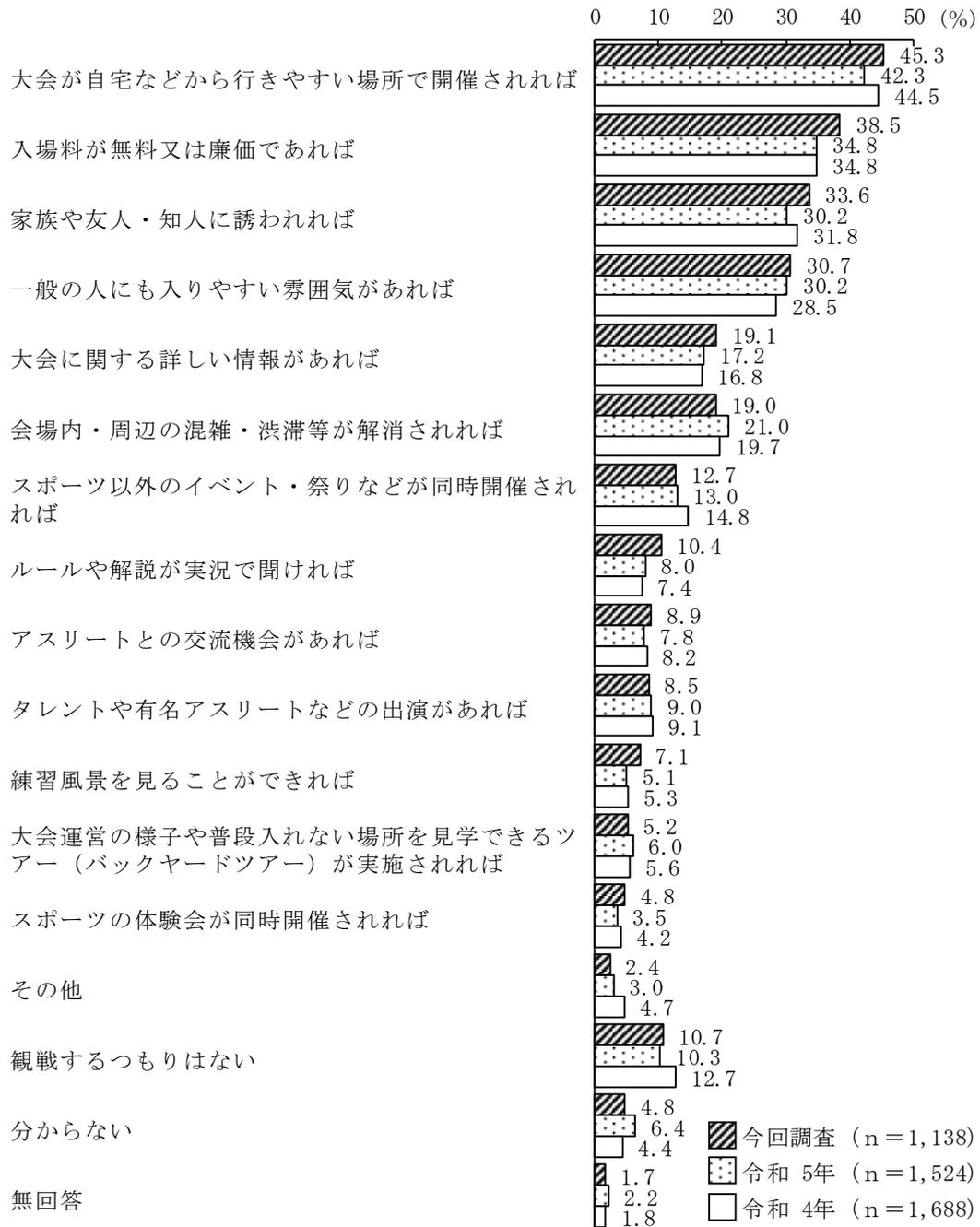
どのような取組・工夫があればスポーツを実際に（更に）観戦してみようと思うか聞いた。

(M. A.)

(本文P97～P99)

・「大会が自宅などから行きやすい場所で開催されれば」が45%でトップ（令和5年より3ポイント増加）

・「入場料が無料又は廉価であれば」39%、「家族や友人・知人に誘われれば」34%が続く



(7) この1年間にテレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦したスポーツ：

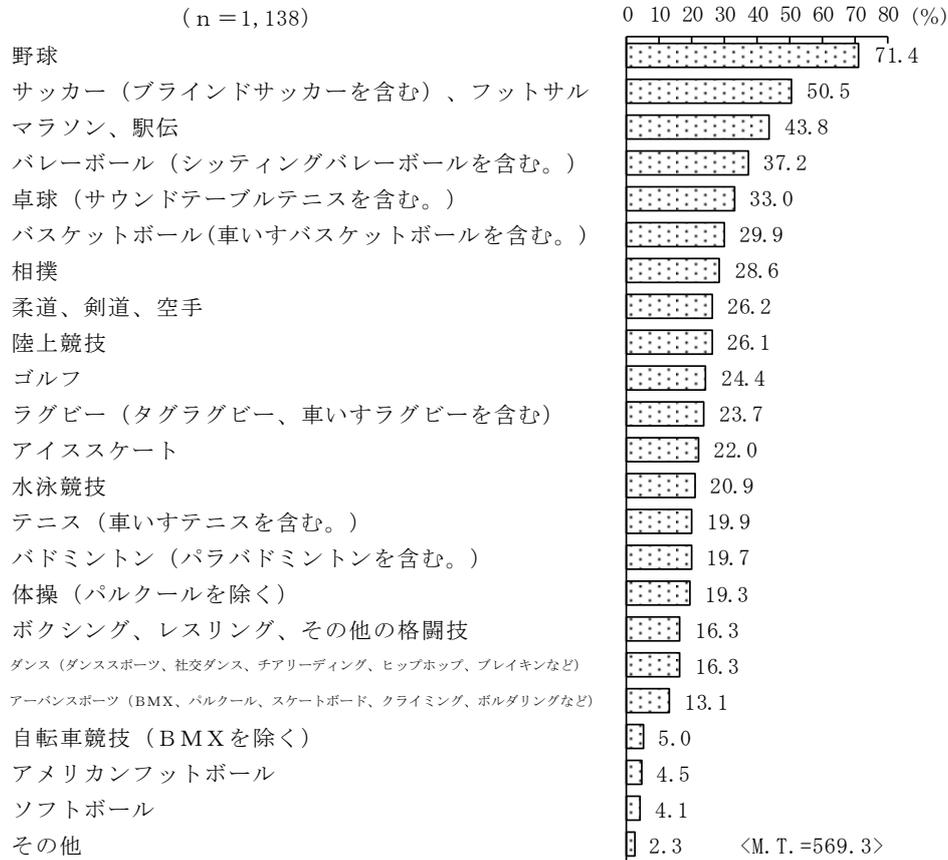
この1年間にテレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦したスポーツの種目を聞いた。

(M. A.)

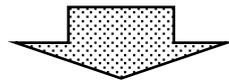
(本文P100～P103)

・「野球」が71%でトップ

・「サッカー（ブラインドサッカーを含む）、フットサル」51%、「マラソン、駅伝」44%が続く



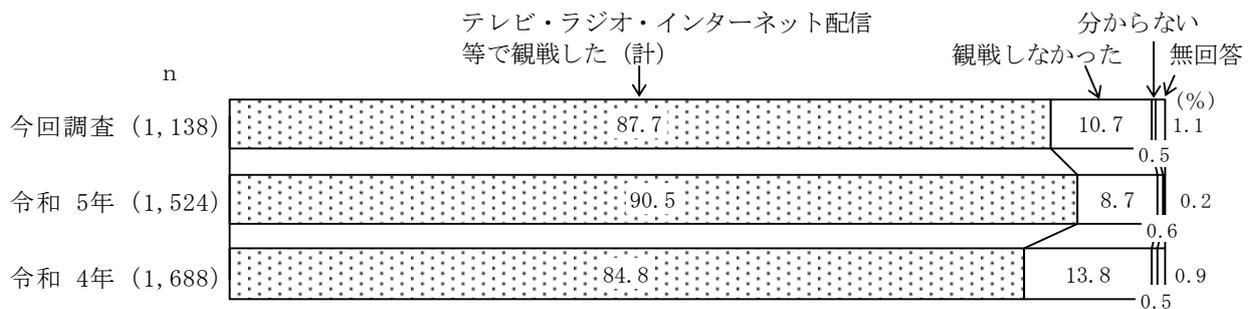
〔上記選択肢を答えた人を『テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦した（計）』とし、「観戦しなかった」と答えた人との比率をみると以下のとおり。〕



〔この1年間のテレビ・ラジオ・インターネット配信等での観戦の有無〕

・『テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦した（計）』は88%（令和5年より3ポイント減少）

・「観戦しなかった」は11%（令和5年より2ポイント増加）



(注) 『テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦した（計）』は「観戦しなかった」「分からない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(8) テレビ・ラジオ・インターネット配信等でスポーツを観戦した日数：

テレビ・ラジオ・インターネット配信等でスポーツを観戦したことがあると答えた人(998人)に、スポーツを観戦した日数を聞いた。

(本文P104～P105)

- ・「月に1～3日(年12日～50日)」が23%でトップ(令和5年より1ポイント増加)
- ・「年に1～3日」、「3か月に1～2日(年4日～11日)」及び「週に1日(年51日～100日)」14%が続く

n	週5日以上 (年251日以上)		週3～4日 (年151日～250日)	週に2日 (年101日～150日)	週に1日 (年51日～100日)	月に1～3日 (年12日～50日)	3か月に1～2日 (年4日～11日)	年に1～3日	分からない	無回答	(%)
今回調査 (998)	3.7	10.6	12.7	13.5	22.9	13.9	14.3	6.5	1.7		
令和5年 (1,379)	5.7	11.6	15.6	12.5	22.0	12.1	11.8	6.4	2.3		
令和4年 (1,431)	5.1	11.3	12.6	13.2	22.4	13.7	12.6	6.1	2.9		

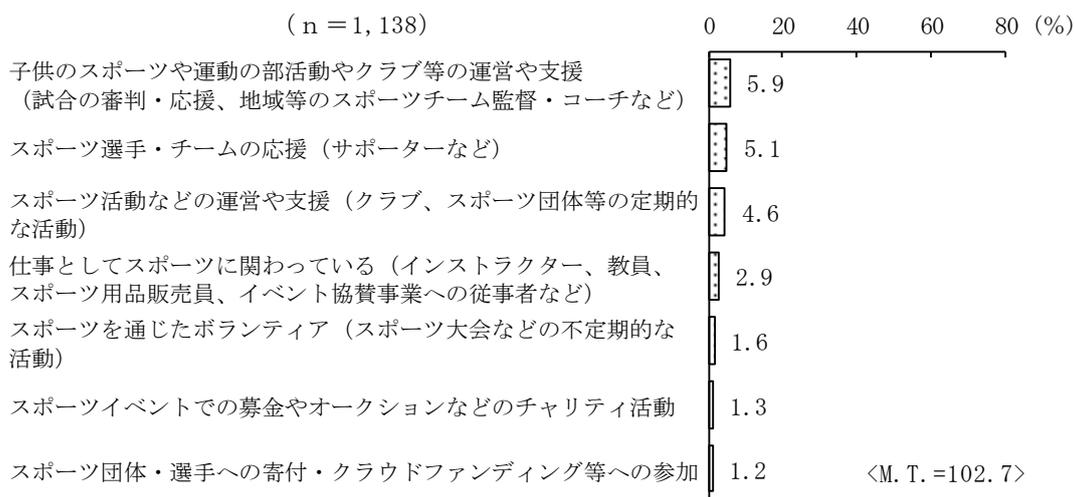
4 支えるスポーツ

(1) この1年間に関わったスポーツを支える活動：

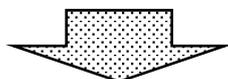
この1年間に関わったスポーツを支える活動を聞いた。(M. A.)

(本文P106～P109)

- ・「子供のスポーツや運動の部活動やクラブ等の運営や支援（試合の審判・応援、地域等のスポーツチーム監督・コーチなど）」が6%でトップ
- ・「スポーツ選手・チームの応援（サポーターなど）」と「スポーツ活動などの運営や支援（クラブ、スポーツ団体等の定期的な活動）」5%が続く

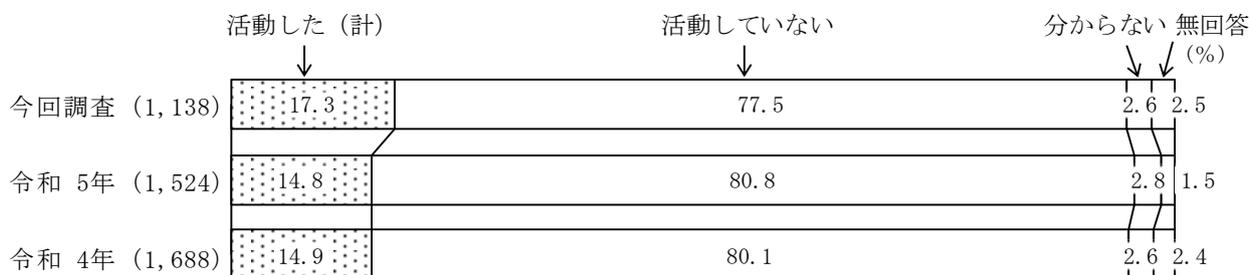


〔 上記選択肢を答えた人を『活動した (計)』とし、
「活動していない」と答えた人との比率をみると以下のとおり。 〕



[この1年間に関わったスポーツを支える活動の有無]

- ・『活動した (計)』は17% (令和5年より3ポイント増加)
- ・「活動していない」は78% (令和5年より3ポイント減少)



(注)『活動した (計)』は「活動していない」「分からない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(2) スポーツを支える活動を行った日数：

スポーツを支える活動を行ったと答えた人（197人）に、活動を行った日数を聞いた。

（本文P110～P114）

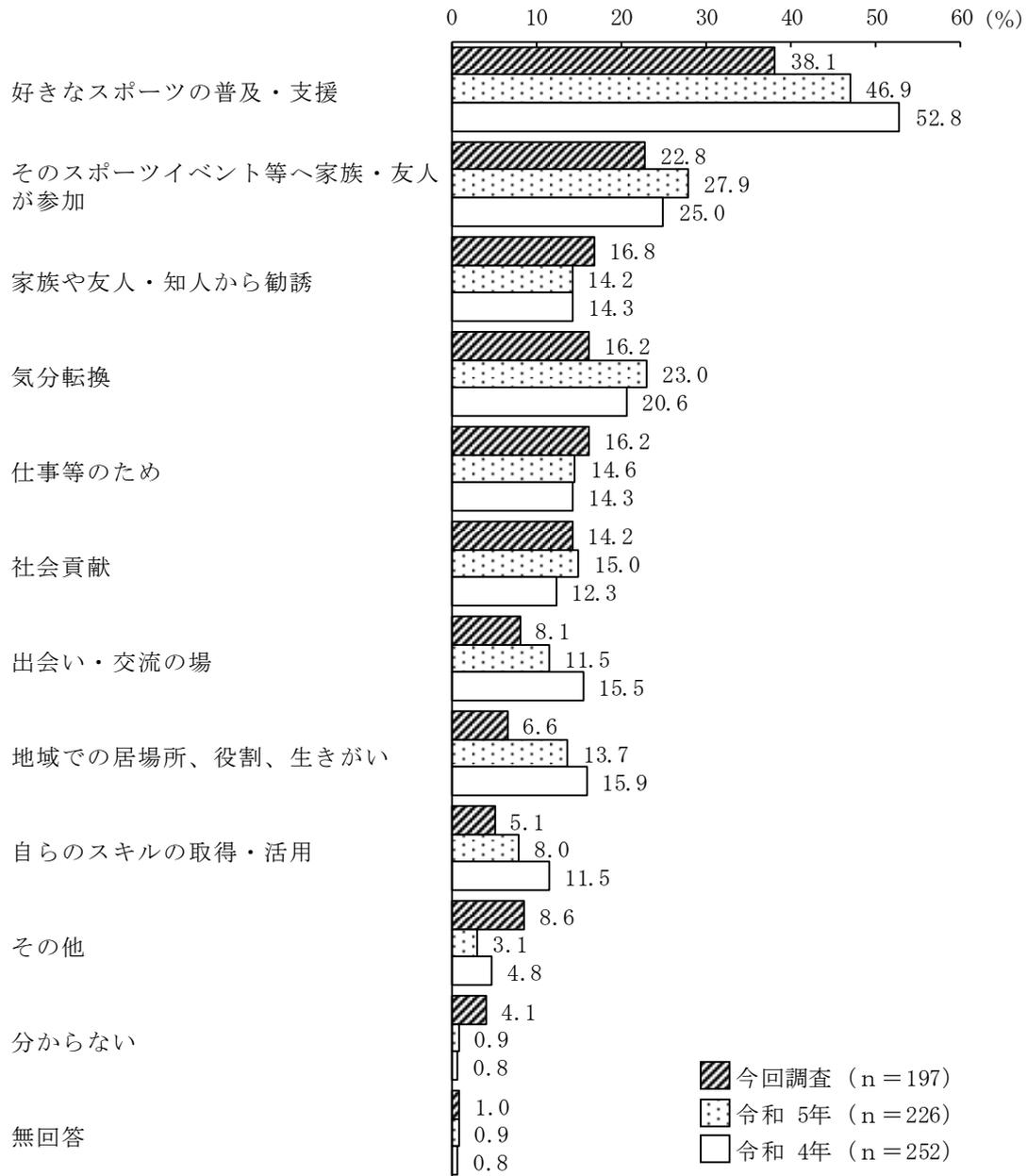
- ・「年に1～3日」が26%でトップ（令和5年より3ポイント増加）
- ・「月に1～3日（年12日～50日）」21%、「3か月に1～2日（年4日～11日）」15%が続く

	週5日以上 (年251日以上)	週3～4日 (年151日～250日)	週に2日 (年101日～150日)	週に1日 (年51日～100日)	月に1～3日 (年12日～50日)	3か月に1～2日 (年4日～11日)	年に1～3日	分からない	無回答 (%)
今回調査 (197)	3.6	5.1	13.2	11.2	21.3	15.2	25.9	3.0	1.5
令和 5年 (226)	6.2	6.2	10.6	12.8	23.5	14.6	22.6	3.1	0.4
令和 4年 (252)	5.6	6.3	12.7	13.5	17.9	14.7	25.4	2.0	2.0

(3) スポーツを支える活動を行った理由：

スポーツを支える活動を行ったと答えた人（197人）に、活動を行った理由を聞いた。（M. A.）
 （本文P115～P118）

- ・「好きなスポーツの普及・支援」が38%でトップ（令和5年より9ポイント減少）
- ・「そのスポーツイベント等へ家族・友人が参加」23%、「家族や友人・知人から勧誘」17%が続く

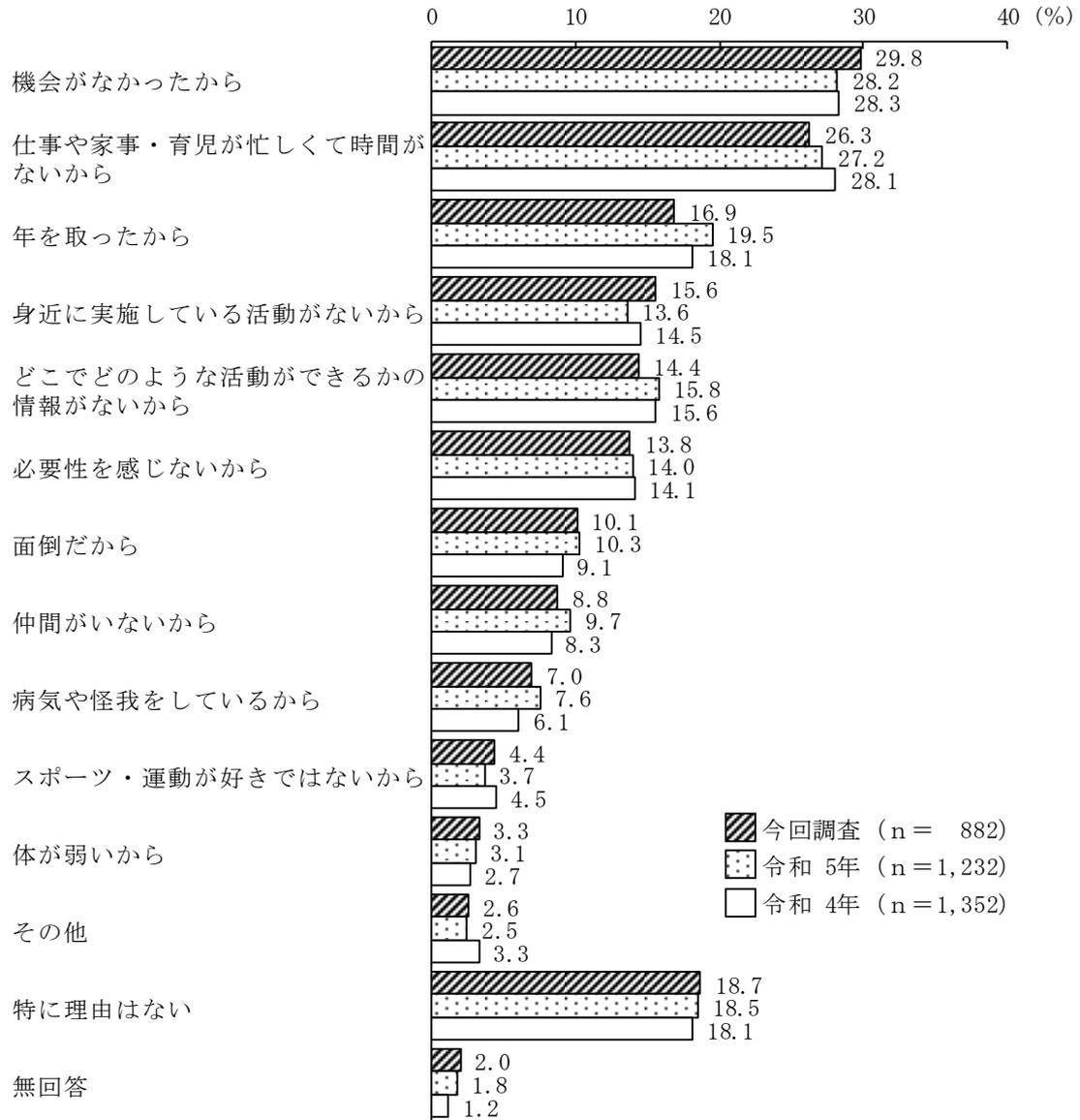


(4) スポーツを支える活動を行わなかった理由：

スポーツを支える活動をしていないと答えた人（882人）に、活動を行わなかった理由を聞いた。（M. A.）

（本文P119～P123）

- ・「機会がなかったから」が30%でトップ（令和5年より2ポイント増加）
- ・「仕事や家事・育児が忙しくて時間がないから」26%、「年を取ったから」17%が続く

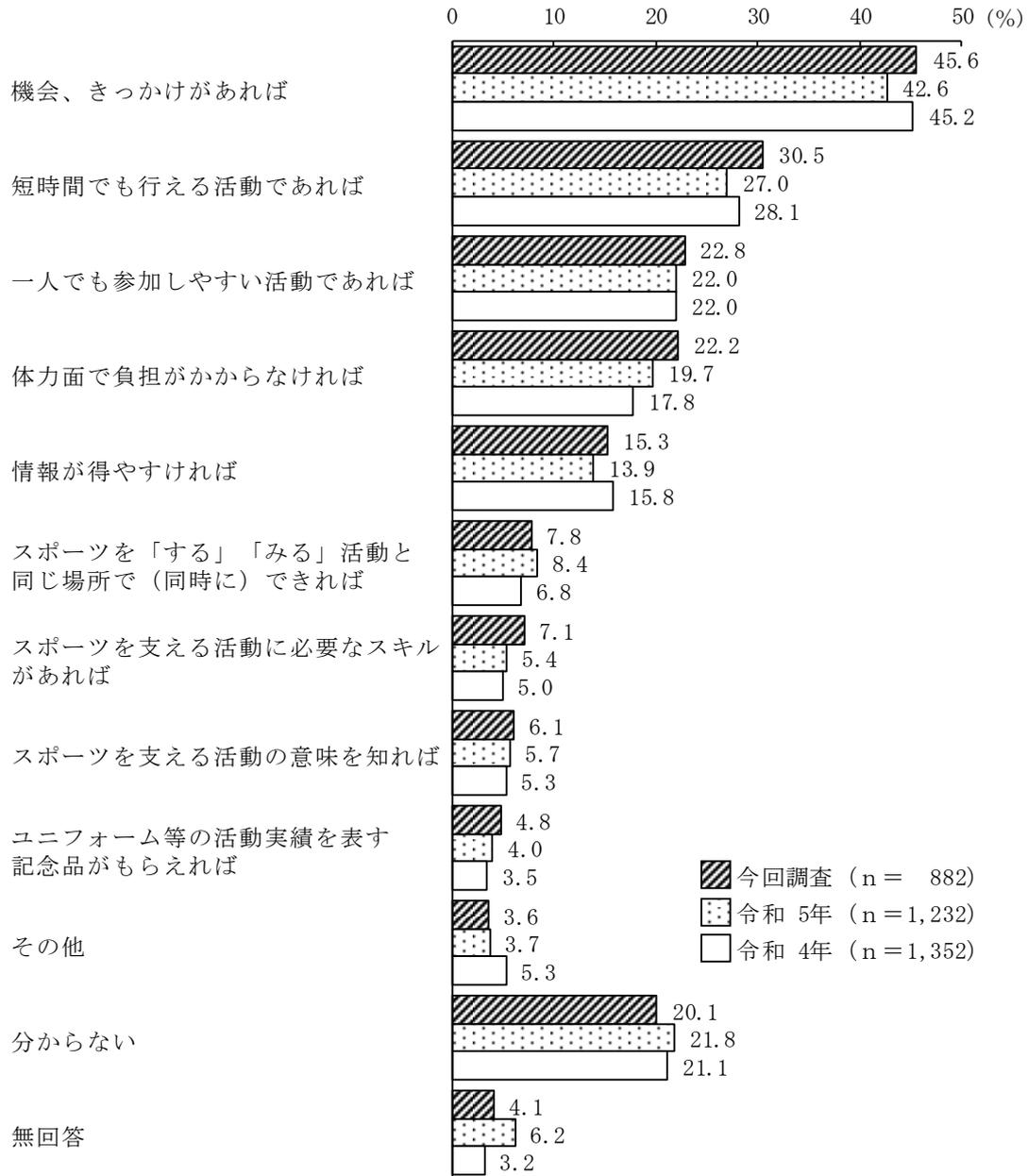


(5) スポーツを支える活動を行える、活動する人を増やせると思う環境：

スポーツを支える活動をしていないと答えた人（882人）に、どのような環境を整えれば、スポーツを支える活動を行える、また活動する人を増やせると思うか聞いた。（M. A.）

（本文P124～P127）

- ・「機会、きっかけがあれば」が46%でトップ（令和5年より3ポイント増加）
- ・「短時間でも行える活動であれば」31%、「一人でも参加しやすい活動であれば」23%が続く

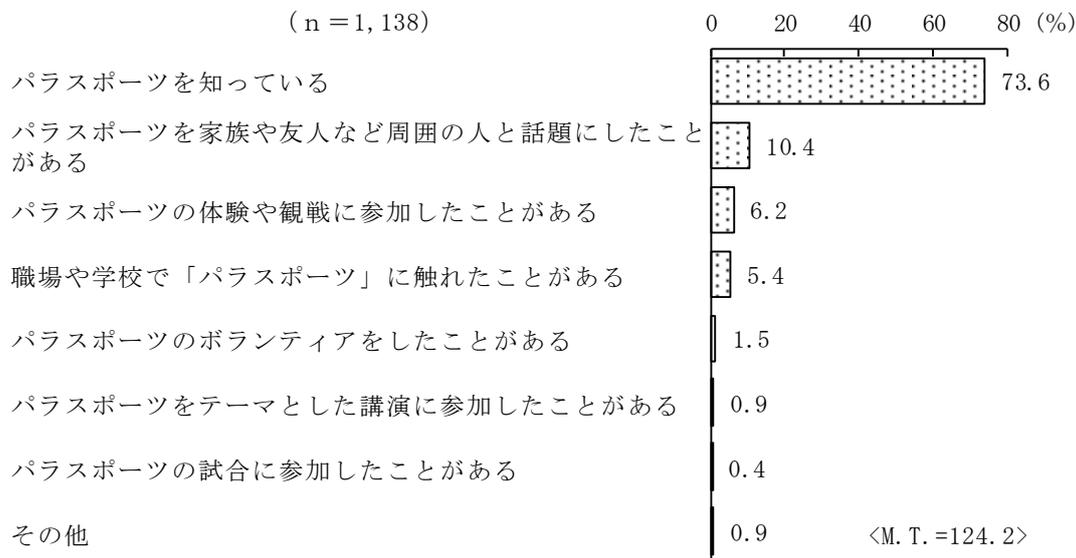


5 パラスポーツ（障害者スポーツ）への関心度等

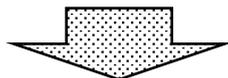
(1) パラスポーツとの関わり：パラスポーツとの関わりについて聞いた。(M. A.)

(本文 P 128～P 131)

- ・「パラスポーツを知っている」が74%でトップ
- ・「パラスポーツを家族や友人など周囲の人と話題にしたことがある」10%、「パラスポーツの体験や観戦に参加したことがある」6%が続く

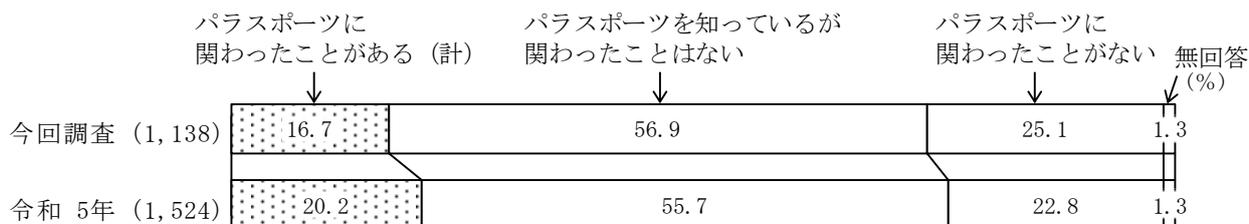


上記選択肢を答えた人のうち、「パラスポーツを知っている」のみ選んだ人以外を『パラスポーツに関わったことがある (計)』、また「パラスポーツを知っている」のみ選んだ人を「パラスポーツを知っているが関わったことはない」とし、「パラスポーツに関わったことがない」と答えた人との比率をみると以下のとおり。



[パラスポーツとの関わりの有無]

- ・『パラスポーツに関わったことがある (計)』は17% (令和5年より4ポイント減少)
- ・「パラスポーツを知っているが関わったことはない」は57% (令和5年より1ポイント増加)
- ・「パラスポーツに関わったことがない」は25% (令和5年より2ポイント増加)



(注1) 『パラスポーツに関わったことがある (計)』は「パラスポーツに関わったことがない」以外の選択肢を選んだ人で、「パラスポーツを知っている」のみ選んだ人を除いた割合

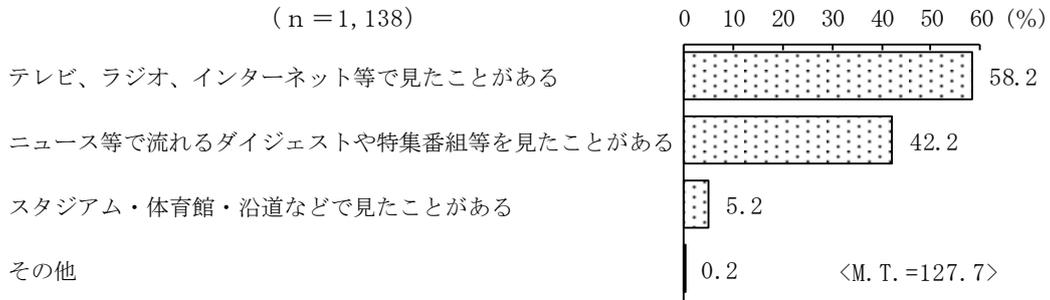
(注2) 「パラスポーツを知っているが関わったことはない」は「パラスポーツを知っている」のみ選んだ人の割合

(2) パラスポーツやパラリンピック競技を見た経験：

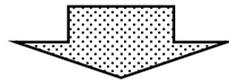
これまでにパラスポーツやパラリンピック競技を見た経験について聞いた。(M. A.)

(本文P132～P134)

- ・「テレビ、ラジオ、インターネット等で見たことがある」が58%でトップ
- ・「ニュース等で流れるダイジェストや特集番組等を見たことがある」42%、「スタジアム・体育館・沿道などで見たことがある」5%が続く

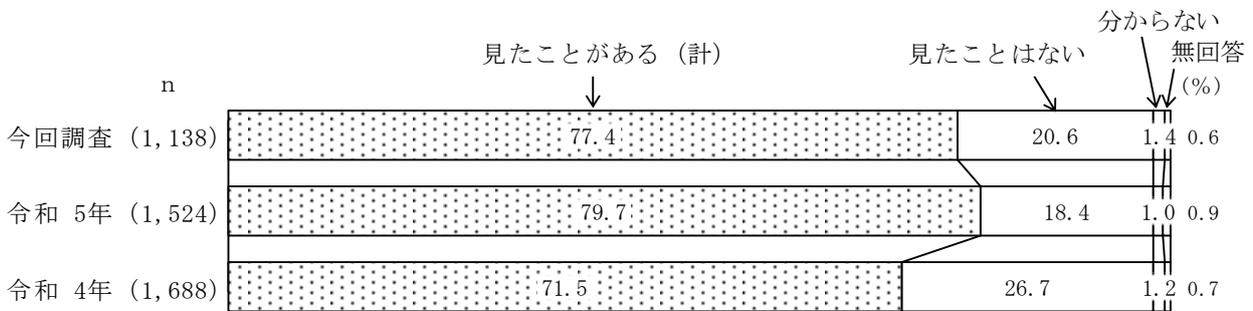


〔 上記選択肢を答えた人を『見たことがある (計)』とし、
「見たことはない」と答えた人との比率をみると以下のとおり。 〕



〔これまでにパラスポーツやパラリンピック競技を見た経験の有無〕

- ・『見たことがある (計)』は78% (令和5年より2ポイント減少)
- ・「見たことはない」は21% (令和5年より2ポイント増加)



(注1) 『見たことがある (計)』は「見たことはない」「分からない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(注2) 『見たことがある (計)』は令和4年では『観戦または見たことがある (計)』

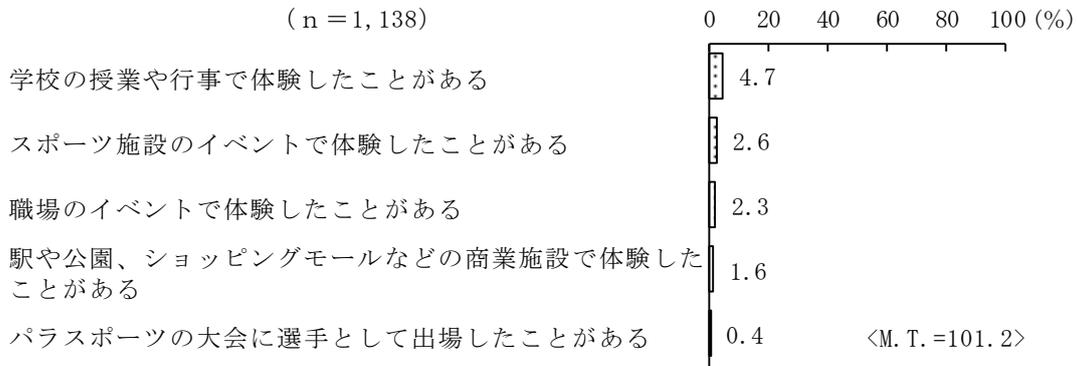
(注3) 「見たことはない」は令和4年では「観戦または見たことはない」

(3) パラスポーツやパラリンピック競技の体験：

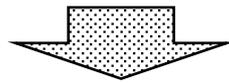
これまでにパラスポーツやパラリンピック競技を体験したことがあるか聞いた。(M. A.)

(本文P135～P137)

- ・「学校の授業や行事で体験したことがある」が5%でトップ
- ・「スポーツ施設のイベントで体験したことがある」3%、「職場のイベントで体験したことがある」と「駅や公園、ショッピングモールなどの商業施設で体験したことがある」2%が続く

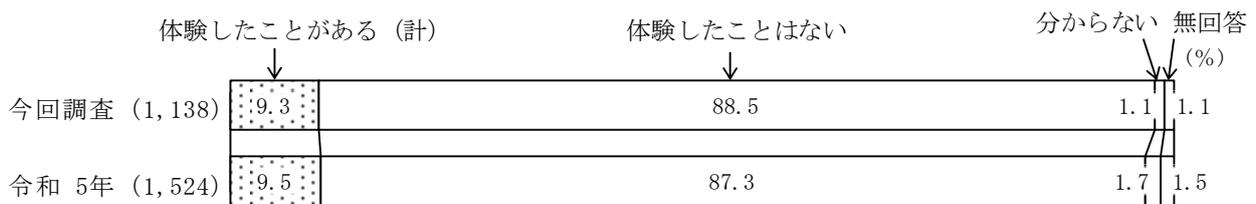


〔 上記選択肢を答えた人を『体験したことがある (計)』とし、
「体験したことはない」と答えた人との比率をみると以下のとおり。〕



[パラスポーツやパラリンピック競技の体験の有無]

- ・『体験したことがある (計)』は9% (令和5年とほぼ同様)
- ・「体験したことはない」は89% (令和5年より1ポイント増加)



(注) 『体験したことがある (計)』は「体験したことはない」「分からない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(4) パラスポーツへの関心度：パラスポーツに関心があるか聞いた。

(本文 P 138～P 142)

- ・『関心がある (計)』は 43% (令和 5 年より 2 ポイント減少)
- ・『関心がない (計)』は 49% (令和 5 年より 4 ポイント増加)

n	関心がある		やや関心がある		あまり関心がない		関心がない		分からない		無回答 (%)	あ 関 心 が (計)	な 関 心 が (計)
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓					
今回調査 (1, 138)	10.8	31.9	33.9	15.1	8.1	0.2	42.7	49.0					
令和 5 年 (1, 524)	11.0	33.3	30.8	14.1	9.8	0.9	44.3	44.9					
令和 4 年 (1, 688)	11.4	31.8	32.5	13.2	7.9	3.1	43.2	45.7					

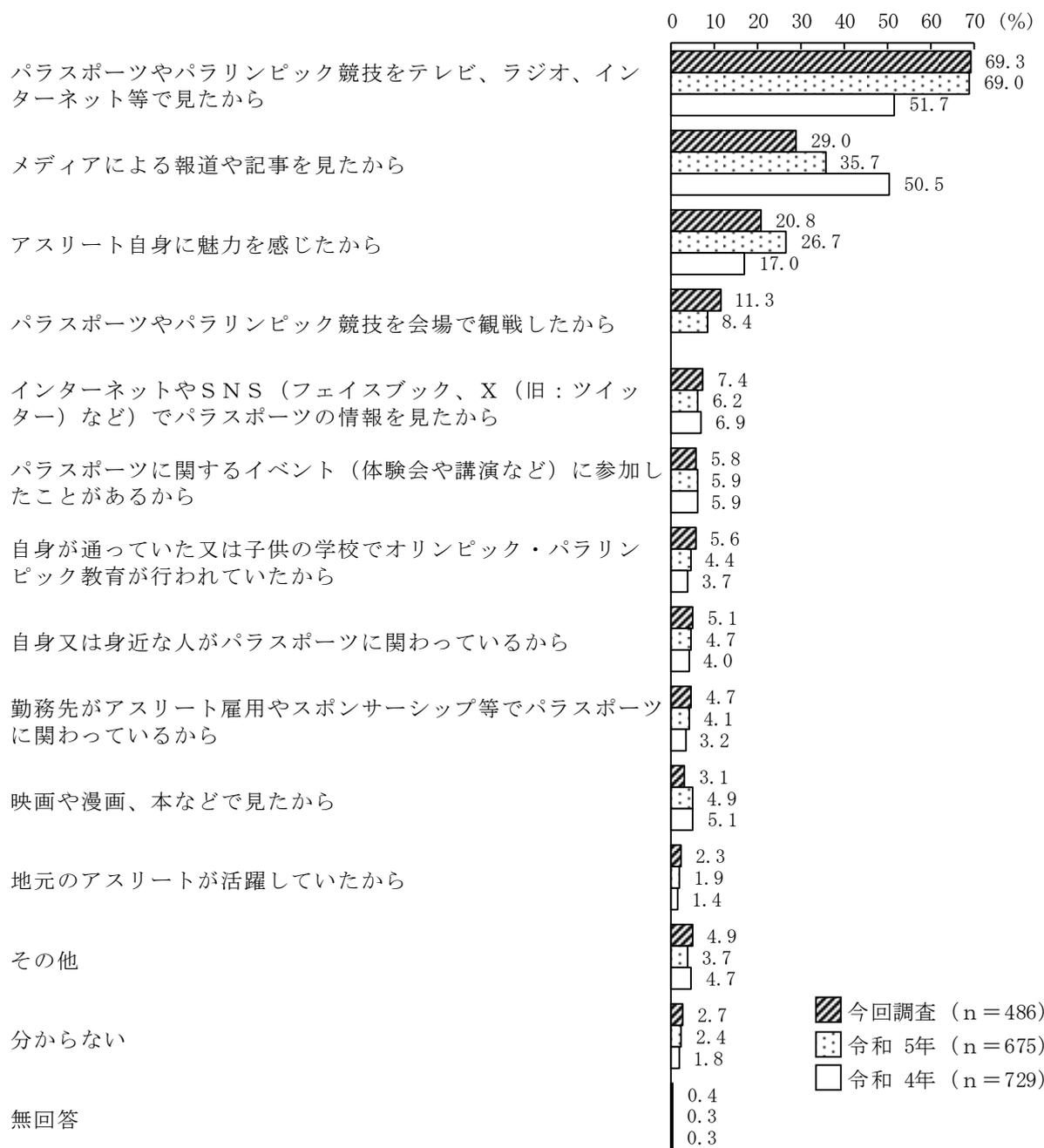
(注) 『関心がある (計)』は「関心がある」「やや関心がある」の合計
 『関心がない (計)』は「関心がない」「あまり関心がない」の合計

(5) パラスポーツに関心を持ったきっかけ：

パラスポーツに関心があると答えた人（486人）に、パラスポーツに関心を持ったきっかけを聞いた。（M. A.）

（本文P143～P145）

- ・「パラスポーツやパラリンピック競技をテレビ、ラジオ、インターネット等で見たから」が69%でトップ（令和5年とほぼ同様）
- ・「メディアによる報道や記事を見たから」29%、「アスリート自身に魅力を感じたから」21%が続く



(注1) 「パラスポーツやパラリンピック競技をテレビ、ラジオ、インターネット等で見たから」「パラスポーツやパラリンピック競技を会場で観戦したから」は今回調査から追加

(注2) 東京2020パラリンピック競技大会から2年が経過したため「東京2020パラリンピック競技大会を見たから」は今回調査から削除

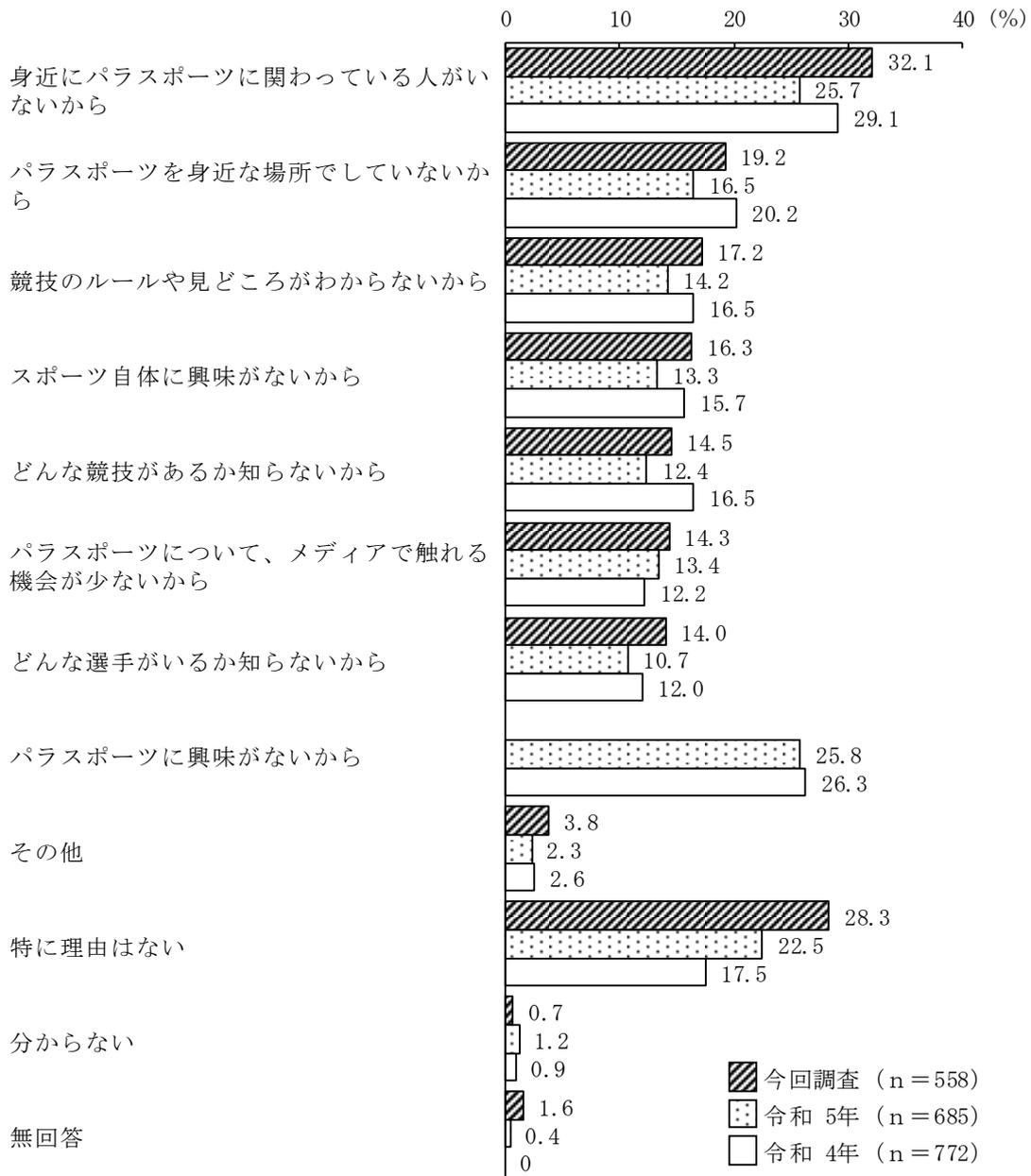
(注3) 「メディアによる報道や記事を見たから」は令和4年までは「テレビやインターネットなど、メディアでの中継・配信・報道を見たから」

(6) パラスポーツに関心がない理由：

パラスポーツに関心がないと答えた人（558人）に、関心がない理由を聞いた。（M. A.）

（本文P146～P148）

- ・「身近にパラスポーツに関わっている人がいないから」が32%でトップ（令和5年より6ポイント増加）
- ・「パラスポーツを身近な場所でしていないから」19%、「競技のルールや見どころがわからないから」17%が続く



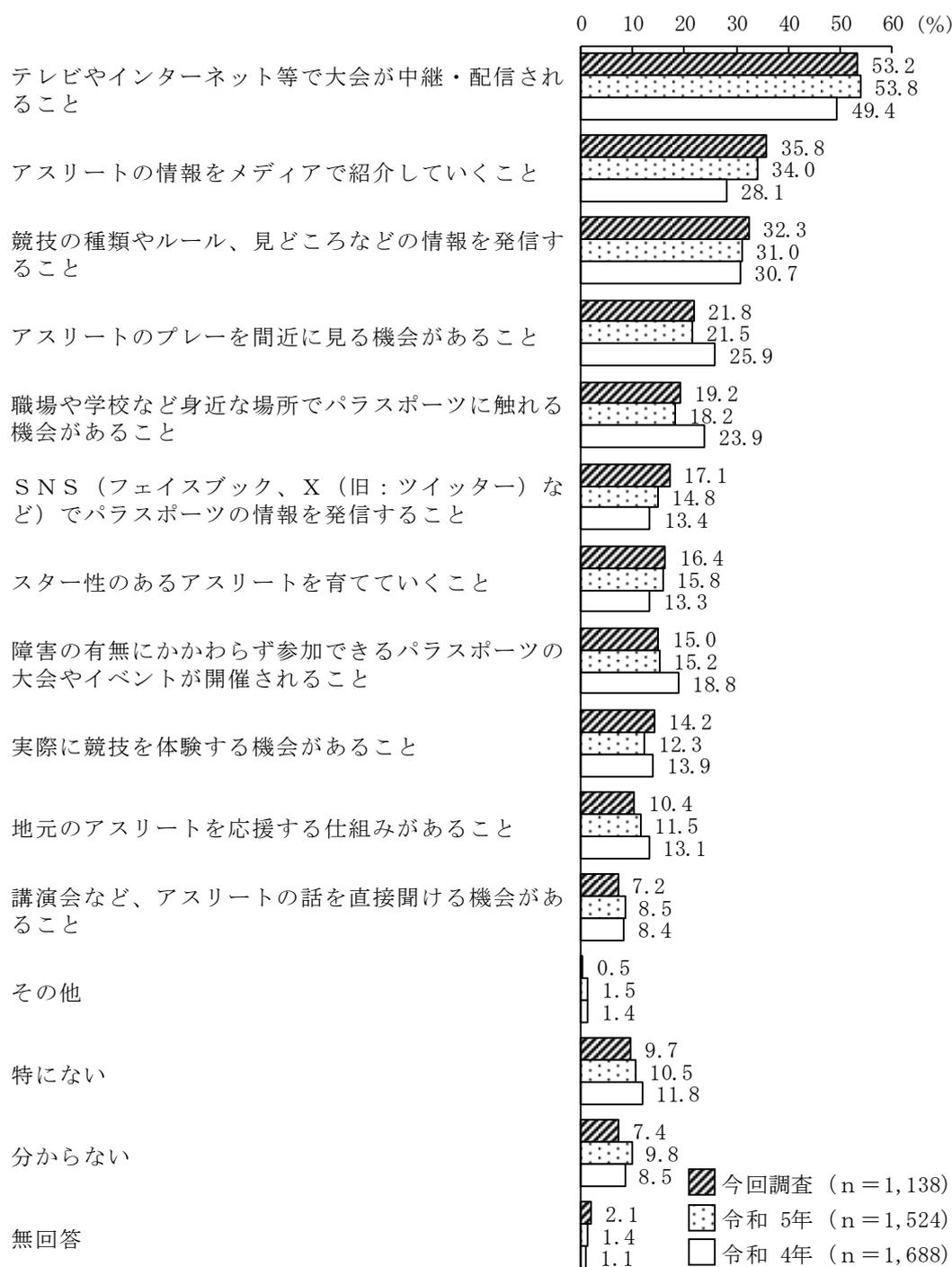
(注) 「パラスポーツに興味がないから」は今回調査から削除

(7) パラスポーツへの関心が高まる取組：

どのような取組があればパラスポーツへの関心が高まると思うか聞いた。(M. A.)

(本文P149～P152)

- ・「テレビやインターネット等で大会が中継・配信されること」が53%でトップ（令和5年より1ポイント減少）
- ・「アスリートの情報をメディアで紹介していくこと」36%、「競技の種類やルール、見どころなどの情報を発信すること」32%が続く



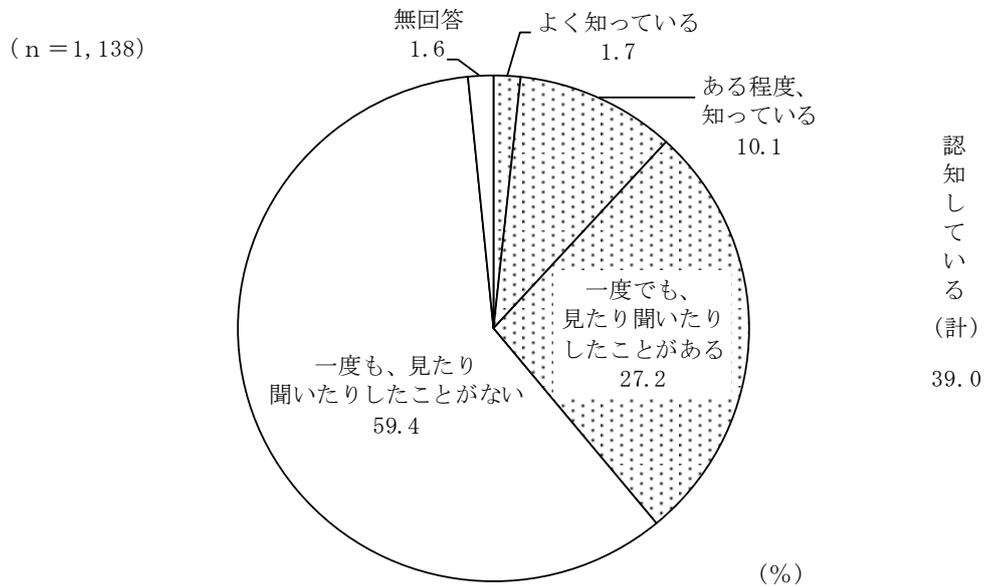
(注)「職場や学校など身近な場所でパラスポーツに触れる機会があること」は令和4年までは「学校や授業でパラスポーツに触れる機会があること」

(8) デフリンピックの認知度：

デフリンピックについて、どの程度知っているか聞いた。

(本文 P 153～ P 155)

- ・『認知している (計)』は 39%
- ・「一度も、見たり聞いたりしたことがない」は 59%



(注) 『認知している (計)』は「よく知っている」「ある程度知っている」「一度でも、見たり聞いたりしたことがある」の合計